新京日日新聞
夕刊
五月二十九日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)三三〇二
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

英新內閣組織後にも日英會談順調進捗せん

對外政策は前內閣を踏襲か

英內閣挂冠こ外務見解

【東京國通】ボールドウイン內閣が挂冠しネビル・チエンバレン氏が新內閣を組織することゝなつたとの報道に關し外務省は大體次の如く見てゐる、すなはち

戴冠式終了後ボールドウイン內閣の挂冠は豫定の行動で別に何等の意味はない、ヨーロッパの政情が依然混沌たる折から新內閣の對外的政策は列國の最も注目するところであらうが、イーデン外相の居据りその他閣員の顏觸れをみても格別の變化があらうとは思はれない、寧ろ對極東政策には前內閣の政策を踏襲するものとみるのが妥當であらう、わが國に關する限りにおいて注意すべきは目下ロンドンで進行中の日英會談の成行であらうが、イギリスはわが國同樣日英兩國の親善關係增進を希求してゐるから今後も依然順調に進捗するものと期待してゐる

産金奬勵に關する積極的意見擡頭

臨時物價對策委員會で注目

【東京國通】當面の物價高問題と爲替問題とは極めて密接な關係を有し爲替維持策と金現送政策、金現送と產金奬勵の必要もまた不可分の關係にあるが、二十八日の臨時物價對策委員會において一委員より左の如く產金奬勵に關して積極的意見が述べられ注目を惹いた、すなはち同委員によれば

年初來の入超額は巨額に上り今後金現送はますます必要となるがそれには現在行はれてゐる如き新產金の買上程度では不足を來すことにならう、從つて今後さらに金買上値を引上げて積極的に產金奬勵を圖ることが目下の急務と考へる、かくすれば貧鑛處理も採算的に可能となるであらう、しかし一方買上値引上げにより過大の利潤を得る產金業者に對しては適當に稅負擔を加重すべきであるといふのであるが、金買上値の引上げは反面に物價高に刺戟を與へまた物價對策委員會の目的に背反するおそれなしとせず、これが運用は愼重を期すべしとされてゐるが、何れにしても右は最近の金現送政策との關聯において一示變を與へたものとして注目に値する

兒玉遞相、空の超特急に托し皇帝陛下に鉢植獻上

日滿兩國首都を結ぶ空の超特急は、いよいよ六月一日より就航するので、日滿兩國政府ではこの劃期的事業を祝福する爲當日の處女飛行に托して兒玉遞相並びに李交通部大臣は互にメッセーヂの交換を行ふが、さらに兒玉遞相より皇帝陛下に獻上の見事な鉢植が托されるほか、生きのいゝ鮮魚を贈つて當日張總理以下各閣僚の夕餐の食卓を賑す趣向である、また李交通部大臣よりは滿洲特產の棗、龍眼を托送する

"日英海運交渉は民間業者で處理"

大谷日本郵船社長、總會で演說

【東京國通】日本郵船總會席上大谷社長は貿易界海運界の大勢を總括し「特に日本の海運界は大戰以來の活況を呈し昨年も海運收入の受取勘定は一億八千萬圓と推定され、本年度は二億圓を超過するものと期待されるが、將來の見透しとしては軍需關係品の移動は必然であるから、あながち悲觀も要しないが、先進諸國は漸次日本船に壓迫を試みつゝあるので、必ずしも樂觀し得ず」となし最後に日英海運關係につき日本船の印度沿岸貿易に從事せるものは殆んど言ふに足らざる程度で、英國海運界が日本船による脅威を說くは當らずとして、左の如き演說を試みた

問題の印度沿岸貿易については日本船のこれに從事せるものは殆んど言ふに足らざる程度で、一回十噸乃至二十噸、一年二、三千噸の極めて少量の集貨に過ぎずこれも最近は殆んど自主的に停止してゐる、而して現在ボンベイ、カルカッタ各航路には同盟が存在して日本船は何れもその割當を嚴守し、却つて配船せずその權利を放棄してゐる實情にあり、英國海運界のいふところはその眞意を諒解するに苦しむところである、しかして英國側はこれを兩國政府間の交渉に移さんと企圖してゐるが、これはあくまで民間當業者の間で處理すべきものと思考する

日本郵船の新造船計畫

【東京國通】日本郵船の新造船計畫につき廿八日の總會席上大谷社長より左の通り發表された

一、貨物船（契約濟）
大型七、〇〇〇噸（一九ノット）二隻
中型四、〇〇〇噸（一七ノット）四隻
二、貨客船（交渉中）
歐洲航路 一六、五〇〇噸（二一ノット）三隻
濠洲航路 一一、七〇〇噸（二〇ノット）二隻
シヤトル航路 一〇、六〇〇噸（二〇ノット）一隻

山海關駐屯の英國兵滿人合宿舍襲擊

英國側陳謝の意表明

【錦州國通】廿七日午後九時頃山海關東方六粁の綏中縣朱家莊海岸に山海關駐屯の英國兵廿が隊伍を組んで手に手に棍棒を持つて來たり、同地漁業家長城公司（增川悦次氏）の滿人合宿舍を包圍し約十分間に亘つて投石する等の亂暴を働き、同家入口を破壞居合せた日滿人に脅迫した上西方に引揚げた事件あり、幸に當方死傷者を出すに至らなかつたが、現地機關は右事件を重大視し充分調査の上適當な處置に出る事になつた、事件の原因は前日の廿六日午後九時頃英國兵十一名が前記長城公司合宿舍に來り、高窓より中を窺つたので同所居住滿人苦金發は匪賊來襲と誤りこれを誰何したところ言語不通のため無法にも英兵は同人を數回毆打逃走したが、その際のいざこざが原因と見られる

【東京國通】英兵の暴行事件に關し外務省にも二十八日夜簡單な公電が到達したが、それによれば事件の內容は二十七日午後九時頃山海關駐屯の英兵約二十名が長城漁業公司を突如襲擊投石し、或は漁業用の網を切斷する等の亂暴を働いたが、前日英國兵若干名と滿洲國人との間に、一寸した爭があつたのでこれに報復を企てたものとみられる、これに對し滿洲國側官憲は直ちに英國駐屯軍當局に抗議したところ、英國側でもその非を認め、陳謝の意を表示したので事件は一先づ解決をみるに至つた

軍縮會議に贊意

ム首相の言明を駐米大使確認

【ワシントン廿七日發國通】ムソリーニ首相が廿五日米國一流の外交評論家ウイリアム・シムス氏との會見中において軍縮會議に贊意を表し且つルーズヴェルト大統領の出席を希望したことは米國政界に多大の衝動を與へてゐるが、國務長官代理サムナー・ウエルス氏は廿六日午後ワシントン駐劄イタリー大使フルツイオ・スビッチ氏を國務省に招致しムソリーニ首相の言明は眞意なりやを質した、右ウエルス國務長官代理の質問に對し、スビッチ大使はムソリーニ首相の言明が間違ひなき旨確認、次の如く言明した

軍縮會議案については余は米國政府に何等かの示唆を行ふやうな訓令を受けてゐないが、ムソリーニ首相がシムス氏に對して行つた言明はイタリー政府の意向を表明したもので、余はこの點に關し既に本國政府からの公報に接してゐる

但しルーズヴェルト大統領は過般軍縮特使ノーマン・デーヴイス氏から歐洲各國政府の意向打診後の報告を受け愼重に檢討を加へた結果まだ軍縮會議招請の時機にあらずとの意向に達してをり、ムソリーニ首相今回の言明もまだルーズヴェルト大統領の決心を促すに至らない模樣である

英帝國會議

經濟問題協議

【ロンドン廿七日發國通】英帝國會議はイーデン外相の不在中專ら經濟問題に集中し廿七日は經濟委員會第二次會議を開催、本會議に對する報告書を可決し一方海運委員會も午後第三次會議を開催、英米海運爭覇につき協議した、海運委員會に出席したのはカナダ、濠洲、ニュージーランド各國代表だけで、專ら太平洋航路問題を檢討したが、なんら具體的決定に至つた模樣はない

獨經濟四ヶ年計畫反對工業者續々逮捕

【パリ廿八日發國通】ルーヴルナール紙のベルリン特派員の報道によれば、ドイツ工業界は經濟四ヶ年計畫に反對し、數週間前經濟相シヤハト博士に覺書を提出し、同案を痛烈に批判して經濟策の全面的改訂を要求したといはれる右の覺書に對しナチス黨首腦は激怒し、關係の工業家をかたつぱしから逮捕したと傳へられる、例の軍需工業王クルップ・フオン・ボーレン・ウント・ハルバッハの如きも辛うじて逮捕を免れたが、嚴重取調べをうけたといはれる、ゲッベルス宣傳相は以上の事態に鑑みいよいよ近く第三國の經濟政策宣傳のカムパを開始するといはれる

ソ聯共青同盟指導者五十餘名逮捕

【ベルリン廿七日發國通】ソ聯政府のトロッキー反革命に對する彈壓は益々激烈を加へ國內各層に亘つて檢擧の手が伸びてゐるが、モスクワからの報道によれば彈壓は遂に共產青年同盟に及び、ゲペウは最近國家の名をもつて既に共產青年同盟指導者五十名を逮捕したとあり、プラウダ紙の報道によれば右共產青年同盟指導者はロストフ、ノボロッシースク、ノボトチニルカースク等各地において反ソ政府反ボルシエヴイキ運動の秘密煽動工作及び共產青年同盟の不平分子糾合に從事してゐたもので、悉くテロリスト及びトロッキストであると傳へてゐる

政民兩黨懇親會

【東京國通】政民兩黨の連繫運動は渦股の代表委員の會合によつてその具體化への第一歩を踏出し、その後着々準備を進めつゝあつたが、愈よ廿八日午後二時より東京會館に兩黨大懇親會を開催、政民兩黨所屬の貴衆兩院議員および全國各地支部長五百名出席、君ケ代の齊唱により開會、小泉、松野兩幹事長より兩黨連繫に至るまでの經過について報告、ついで町田民政黨總裁鳩山政友會代行委員起つて演說をなし、終つて兩黨共同の聲明を發表、引續き大懇談會に移つて永井、富田、山本(悌)芳澤、川村の諸氏より憲政擁

人事往來

着京

▲宇佐美喬爾氏（錦州鐵路局副局長）二十八日來京ヤマトホテル
▲白井喜一氏（國際運輸常務）同
▲佐分利一武氏（日本興業銀行）同
▲安藤一郎氏（山海關稅關）同
▲高扉庸彥氏（住友）同
▲牧野豐助氏（住友顧問）同
▲藤原猛氏（會社員）同
▲上山豐二氏（同）同
▲星野金之助氏（官吏）同
▲相馬龍雄氏（同）同
▲宮下眞治氏（會社員）同國都ホテル
▲富田常猛氏（同）同
▲增谷慶信氏（不二公司）同
▲細野重雄氏（滿鐵）同
▲澤田新三郎氏（石炭商）同
▲渡邊義一氏（電報通信社長）同
▲高橋德衞氏（滿洲製粉）同
▲平田裕寬氏（商）同
▲西原寬值氏（イリス商會）同
▲森周六氏（農學博士）同
▲森久氏（出版業）同
▲竹內實氏（北海道公吏）同向陽ホテル
▲矢野知時雄氏（同）同
▲古澤善文氏（農學博士）同
▲里見岸雄氏（朝鮮總督府囑託）同
▲大木市造氏（會社員）同愛國ホテル
▲上條勝氏（貿易商）同
▲木村健吉氏（會社員）同
▲庄子誠造氏（官吏）同
▲三谷清氏（吉林省公署總務廳長）同
▲中村貞輔氏（奉天國道建設處長）同中央ホテル
▲松尾松太郎氏（冀察顧問）同
▲山本滋雄氏（日本商業通信副社長）同
▲長澤千代造氏（同盟通信社）同
▲福間治三氏（アサヒメタル取締役）同國際ホテル
▲劉鴻洵氏（間島省農務科長）同
▲中山榮氏（吉林總領事館）同
▲江崎重吉氏（奉天鐵道事務所庶務課長）同新京ホテル

出發

▲湊才次郎氏 二十八日發奉天へ
▲原武氏 同
▲福渡文吾氏 同
▲西野省三郎氏 同
▲上崎龍次郎氏 同
▲天羽壽郎氏 同
▲竹內壽太郎氏 同
▲野村虎雄氏 同
▲山地世夫氏 同
▲山地抵太氏 同
▲高木增平氏 同
▲森山惣次郎氏 同
▲雨宮靜軒氏 同吉林へ
▲池田新三郎氏 同
▲伊藤八郎氏 同
▲小池貞一郎氏 同
▲瀾澤昭氏 同ハルビンへ
▲相澤重幸氏 同
▲大山行吉氏 同
▲大住正一氏 同大連へ
▲金內良輔氏 同
▲山田覺氏 同雄基へ
▲木村治人氏 同
▲田中政行氏 同延吉へ
▲辻兼松氏 同チチハルへ
▲高村忠義氏 同奉天へ
▲大木幹一氏 同
▲神戶繁雄氏 同
▲奧野榮一氏 同大連へ
▲山中富彥氏 同
▲北島享亮氏 同
▲吉見吉治氏 同ハルビンへ
▲佐藤美雄氏 同
▲笹本貢氏 同
▲本多保太郎氏 同
▲宮副彰智氏 同吉林へ
▲林屋豐司氏 同
▲山田義磨氏 同內地へ
▲中島信太郎氏 同圖們へ
▲谷村勝三氏 同大連へ
▲田中重二氏 同
▲村上寬氏 同
▲瀨戶山之氏 同內地へ
▲慶居勝三氏 同牡丹江へ
▲伯井純明氏 同
▲赤谷雅示氏 同圖們へ
▲山內一朗氏 同奉天へ
▲梅崎延太郎氏 同ハルビンへ
▲渡邊右文氏 同奉天へ
▲林治茂氏 同
▲田本辰次郎氏 同

その日〳〵

□

愈よ政府は議會に臨む準備をする、次は政黨が動く番だが……

□

支那は反日によつて、日本の對支方策へのゼスチユアを示す積りか

□

けふ京吉マラソンの新京豫選、健脚すさまじく初夏の舖道を蹴る

□

ハイキング展、いまさらにわれらの環境に親しい感興覺えさすものがあらう

□

士女相ともに野に遊ぶ、これを踏靑といふ、ハイクの元祖であらう

歌はぬ樂譜

（百五十七）

（誌上映演）山中峯太郎　水門讓二畫

破局か和解か（二）

俊子が、不意に夜中に歸つて來た。

沼津の家に、父も、母も、そして兄も、おそろいて茶の間へ通すと

『藤岡は、どうした？』

膝をつきあはせて、父が、先づ尋ねた。

俊子は、蒼ざめたまゝ、父と母との顏を、靜かに眺めながら

『喧嘩なぞして來たのではないんですの』

と、聲もみだれずに、それだけ強い覺悟が、すみきつてる表情に現れて

『私、侮辱されましたから、もう藤岡の家へは、歸りませんの、どうしても！』

『侮辱？』

と兄が、俊子を見つめて

『それア、藤岡は我まゝだからそんな風に、お前が思ひこんだのぢやないか。さうだらう！』

『いゝえ……』

『いつたい、どうしたと言ふの』

と、母はオロ〳〵して

『事がらを、すつかり言つてごらん、俊子！』

『事がらは、私を、藤岡も誤解してゐたのですし、私も、誤解してたのですわ。ですから、一日として私、滿足した生活は、なかつたのですの』

さすがに俊子も、涙ぐんだ

『それア、お前が……』

『あまり潔癖だからだ』

『さうかも知れませんわ。でも、それだけ、藤岡は、私の潔癖を、まるで知らずにゐたんですわ』

『それぢや、單に感情の問題ぢやないか』

『いゝえ』

『何があつたんだ、一體』

『…………』

俊子は默るさ、眉をひそめた。

『何だ？言はなけア、解らないぢやないか』

『では、お兄さんに聞くわ、結婚して、お兄さんの奧さんが、ほかの人と何かの交渉をもつた時、お兄さんは、どうして？』

『なに？』

父も母も、同時に愕然とした。

『藤岡が何か、俊子、さういふことをしたのか？』

尋ねる父の聲が、驚きにふるへた。

『私、てなければ、いくら潔癖でも、かうして家へ歸つて來ませんわ』

『それには、證據があるのか』

『…………』

藤岡の方に、證據が』

――證據？

俊子は、唇をむすんだ。

――さういふものは無いのだつた。

――けれど、たしかに、あの英子夫人の言葉こそ、許しがたい證據でなくて何だらう！

『オイ、俊子！』

と、兄が呼びかけて

『むやみに、そんな事を言つて、もしも、さうでなかつたら、お前藤岡に何と言ふつもりだ？』

『さう、私が鈴木病院に入つてゐた時、お兄さんも、お會ひになつたわね』

『誰にだ』

『井上英子さいふ人に』

『…………』

ハッと思ひあたつて、兄は目を見はつた。

――あの靈識なマダムが、藤岡と？

――いや、それア、何かの間違ひだ。

信じられない氣がして玄關に、何か呼び聲がしたがあるのか』

『俊子、それア、實際に證據母があわてゝ立つて行くさ歸つて來た右手に電報を持つてゐた。

父が受取つて、開けて見ると

『トシコイツタカ、キウヘンヒロシ、藤岡からだ。すぐに返事を打つて、藤岡を呼ばう！』

忠靈塔合祀奉告祭
今夕七時から執行
眠る五十九柱の英靈
永遠に安らかなれ

新京忠靈塔合祀奉告祭は二十九日午後七時から祭典委員に於て嚴かに執行されるが今回合祀される英靈は左記の五十九柱である

霜宗一（步上石川縣）安達長男（步上北海道）中谷三郎（步軍石川縣）尾形良一（二軍醫大邱府）北田廣治（航上長野縣）羽物吾一（步曹栃木縣）高瀨辰喜（步上熊本縣）三木貞一（步上廣島縣）古賀藤雄（步上福岡縣）石川隆吉（囑託新京）小西利吉（步上石川縣）竹井正太郎（砲上埼玉縣）細見保次（航特兵庫縣）奧田猶行（同上愛媛縣）渡部庄方（同上福島縣）田中福松（航軍長崎縣）坂井佐平（航曹新潟縣）後藤儀一郎（步上千葉縣）鈴木惠壽（三看官福島縣）小川嘉男（步軍北海道）外山正二（步軍愛知縣）佐藤文一（雇員岐阜縣）桝田守（步伍宮崎縣）坂田利雄（步伍石川縣）寺田武（同上石川縣）野村民部（步上群馬）岩下秀雄（步伍熊本）湯淺守一（步上東京）眞下雄三郎（憲曹京都）中村家壽（囑託北海道）廣瀨寬（上等磨工兵福岡）山本勝味（步伍大分）羽田等（三看長大分）山本末松（步上大阪）門田正一（同上東京）海保武司（步少尉千葉）松本滿明（步曹長崎）佐々木淸（砲上福島）河村長三郎（步上東京）尾畑策（軍屬富山）飯野三男（砲上山梨）吉野喜與次（三計手埼玉）根岸照夫（砲曹群馬）杉原貞市（雇員長崎）佐渡千代雄（步伍北海道）荒井淸作（同上北滿道）竹下誠一（衛生任長北海道）山崎健治（步伍北海道）高橋隆一（同上北海道）岡田笛夫（步上鹿島）梶原元幸（航大尉熊本）鍋島準二（航准尉朝鮮）大林武男（航曹兵庫）大西義廣（航伍大阪）小坂下淸文（步一鹿兒島）畑平俊高文貞（步上千葉）下瀨博敏治（航伍和歌山）（步中尉山口）

大祭をあすに
準備成つた忠靈塔

新京忠靈塔の春季大祭は三十日午前八時四十分から執行されるが忠靈塔境內は數日前から淸掃され周圍には紅白の幔幕を張り廻らし正門には大アーチを設け參道及び東側道路の兩側には奉納の雪洞が立て連ねられ境內の各種奉納餘興場の設備もすつかり整ひ今はたゞ當日を待つばかりとなつてゐる、一方本年は最も盛大を期するため市中各町內會では神社の祭禮と同じく高張提灯を掲げ祝意を表することゝなり準備を整へてゐる

（寫眞は大祭準備成つた忠靈塔）

三笠小學校の御眞影奉戴式

新京三笠小學校では二十八日拜受した御眞影の奉戴式を二十九日午前十時からいとも嚴肅に擧行された、新京事務局鯉沼參事、加藤、山下正副保護者會長、中村總領事館書記生、各小學校長その他多數保護者の來賓あり、敎職員、兒童一同入場、同最敬禮、開式の辭、國歌合唱、この間辻校長は御前に進み出でゝ開張一同拜賀、勅語捧讀、奉答歌合唱、滿鐵總裁の告辭を鯉沼參事が代讀、續いて學校長の戒訓が行はれ奉戴歌合唱裡に閉張、閉式の辭が述べられて同十時三十分滯りなく閉式した

蒙古忠靈塔の開眼式を執行
けふから三日間に亘り盛大に

興安南省洮遼市北門外遼河に建立中であつた蒙古忠靈塔はこの程竣工をみたので、廿九日より三日間に亘り開眼式、慰靈祭、蒙古風俗展覽會等を純蒙古式に則り莊嚴に執行することゝなつた、この聖塔は大曼茶羅御本尊を正境に奉安し、明治大帝の御尊靈をはじめ奉り蒙古民族の英祖成吉思汗以下民族功勞者ならびに滿洲事變戰歿功勞者、日軍步兵大佐松井淸助氏以下入體、蒙軍九十七體を安置するものであるが、三百萬蒙古民族の信仰對象として建立せられた同塔の開眼式を有意義ならしめるため、特に同期間中は純蒙古式催物としてラマ舞樂、蒙古角力、武道、蒙古民謠、流鏑馬等を擧行するほか蒙古民族の實際生活を學生その他觀光客に紹介する意味から、聖塔の下に蒙古包村を永久施設として新設、包內一宿の夢に成吉思汗の面影をしのびつゝ蒙古情緒を味はせることゝなつた

嫁に行くのを嫌つて？ 娘さん失踪

先頃迄長春座の受付をやつてゐた娘さんがにげだした＝德島縣阿波郡八幡町湯淺宗一郎長女千惠子さん氏（二三）は叔父である新京慈光路六〇三小松直文氏の宅に寄宿して映畫館長春座の受付ガールとして働いてゐたが去る二十四日故郷より父湯淺宗一郎氏が迎へに來たので一諸に新京を出發歸國の途次大連で二十七日無斷失踪してしまつた、驚いて新京署に搜査願を出した、原因は多分嫁さんに行くのを嫌つての家出ではないかと思はれて居り、新京の良い人の處に舞ひもどつて來たのではないかとみられてゐる

日蓮宗の大皷 喧しいぞ（投書）

これも騷音取締りに引つかかるか＝廿九日午前新京署保安係に一市民よりとして日蓮宗のうちは太皷が八釜しくて困るから何とかして頂けないかと云ふ投書が舞ひ込んで來た投書に依れば何も大道でドン〳〵やらなくとも家の中でやつて貰ひ度いと云ふのである

祝町の露店 一日から開始

夜のハイクは露店からを標傍して、各町商店街は一齊に開店許可を申請し、商店街繁榮策に大童であるが、此の程祝町筋にも漸やく許可の運びとなり、來る六月一日より開店することになつた、祝町康榮會露店部では早くもその準備にかゝり露店募集中である。

ハイクと旅の展覽會
朝來から賑ふ
けふから三中井開催

本社並に觀光協會主催、新京驛、鐵路總局、ジャパンツーリストビューロー、新京交通會社、三中井百貨店後援のハイキングと旅の展覽會は愈よ本日より三中井百貨店五階で開かれた、免角運動不足の都人がその日がへり位の淸遊地をと欲して居た折柄とて近郊のハイキング・ピクニックの紹介は各方面から喜ばれ朝來から會場は滿員殺倒してゐる、驛、ビユロー、交通會社では係員が會場に出張淸遊或は家族會等の好適地の案內相談に應じて居る（寫眞は會場）

敷島寮居住者 當分禁足

二十八名の猩紅熱患者を發生した敷島寮には主として驛員[illegible]活しており、收容患者及び容疑者以外の百三十餘名は二十七日午後直ちに禁足を命じ滿鐵衞生隊で大消毒の上保健所では隔離者の保菌檢査を行ひ向ふ一週間後は禁足を解かず外部との通行を遮斷して大事をとつてゐる

淨月潭探勝會
申込みは早く
本社主催 各方面からの寄贈山積

初夏の一日綠したゝる水境に繁雜な勞苦を忘れてうちくつろがんと本社並に新京バス會社では郊外淨月潭水源池探勝會を六月六日催すことになり鈴蘭香り蕨萌え出る丘での催しものにつき準備に奔走中であるが左記各店では賣探し、福引、笑の運動會の賞品にと續々寄贈あり盛り澤山なプロに豐富な賞品で愈よ人氣を集めてゐる

三共販賣株式會社＝ヘイキングセット一組、山本看板店＝置時計、三菱商事＝タオル二百本、金泰洋行＝タオル百本、日高洋行＝風船五百個、中原洋行＝文房具、出光商會＝灰皿 タオル數十個、新京印刷所＝オーブンシャツ、鳥羽洋行＝小學生用ノート、ボール用ゴムマリ、滿洲千福讓造元＝千福五升、オートリ寫眞館＝撮影券五枚、西村洋行＝米一俵、みしまや＝浴衣、大和商會＝文房具

なほ各方面から多大の贊同を得て申し込み殺倒し近く滿員

新潟物産商事部の開業記念廉賣
けふから三日間卸賣値段で

特別市新發路五十嵐ビル主、建築請負業五十嵐辰豐氏はかねて新潟—北鮮諸港間との航路連絡完成と京圖線の開通を機に「新潟物産商事部」を開設、氏の郷里新潟縣の物産販賣を計畫して縣當局とも連絡爾來着々準備を進めてゐたが諸般の準備整つて愈よ開業することゝなつた、販賣品目は該地物産の食料品建設用具大工道具、洋食器類等各種に亘る販賣を專門とするものであるが、廿九日より向ふ三日間を開業披露として左記食料品につき數を限つて御値段により小賣廉賣をすることとなり非常な期待を以て迎へられてゐる【寫眞は新潟物産陳列所】

▲梨子、正味三貫 五〇〇匁入、箱入、二〇〇箱、三圓九〇錢▲味噌漬、大根、木瓜、正味三〇〇匁入混入瓜、茄子、チソノ味、南蕃箱入、三〇〇箱、六五錢▲大根味噌漬、正味四メ目入、樽入、一〇〇樽、六圓〇〇▲茄子味噌漬、正味四貫目入、樽入一〇〇樽、六圓〇〇▲茄子味噌漬、正味十七貫目入、樽入五〇樽二五圓五〇▲白瓜味噌漬、正味十七貫目入、樽入、五〇樽、二五圓五〇▲木瓜味噌漬 正味十七貫目入、樽入五〇樽▲南蕃味噌漬、正味四貫目入 樽入一〇〇樽八圓〇〇▲南蕃味噌漬、十七貫目入、樽入、五〇樽、二九圓八〇▲牛蒡味噌漬、正味四貫目入樽入一〇〇樽、六圓〇〇▲牛蒡味噌漬、正味十七貫目入、樽入、五〇樽、二八圓〇〇▲ハラミ味噌漬、正味四貫目入、樽入一〇〇樽、六圓五〇▲越後味噌、正味十貫目入、樽入一〇〇樽、八圓六〇▲奈良漬瓜、木瓜混入正味三〇〇匁入、箱入三〇〇箱、七五錢▲白瓜奈良漬、正味十貫目入樽入、五〇樽、二三圓〇〇▲香胡瓜奈良漬正味十貫目入樽入、五〇樽、二三圓〇〇▲澤庵漬 正味十五貫目入樽入一〇〇樽、七圓九〇 正味五貫分、四圓三〇▲關花漬、お吸物用お茶代り、正味五〇匁入、瓶入、一〇〇本、三三錢▲上等梅干、正味三貫三〇〇匁入、樽入、一〇〇樽、五圓八〇▲上等福神漬、正味四貫五〇〇匁入、樽入一〇〇樽、五圓九〇

"空の超特急"
今朝七時歸還の途へ

二十八日來京中新京飛行場に機翼を休めてゐた東京新京間超特急定期航空試驗飛行の中島式AT型旅客機は航空郵便行囊四個と滿洲飛行協會長より帝國飛行協會長に宛てたメッセーヂ等を搭載し二十九日午前七時二十分桑島操縱士が操縱し都築滿航新京管區長、江口日航出張員其他關係者の見送りをうけ折柄の快晴に惠まれて歸還飛行の途についたがコンデイションよく午前八時四十分奉天着九時十八分發一路京城に向つた東京着は午後五時の豫定

滿洲からメッセーヂ 帝國飛行協會に

滿洲飛行協會は二十九日新京東京間空の超特急試驗飛行を機に帝國飛行協會あて左の如きメッセーヂを託した

空の特急日滿連絡飛行大成を祝し併て貴下の御隆昌を萬歲し奉る、曩に滿洲飛行協會の發會成るや遠く小野閣下を代表として弊地に差遣せられてより兩協會は實質上將に同身一體となり日滿不可分の原則を具現し來れり希くは將來益々先進帝國飛行協會の御指導鞭撻を辱し一層緊密協調を保持し民間航空事業の伸長につとめ以つて軍大國策遂行に力を致し皇謨を翼贊し奉らんことを、本日歷史的連絡飛行に雁信を託して敢へて蕪辭を謹呈す

昭和十二年五月二十九日
滿洲飛行協會 會長 大橋忠一
帝國飛行協會 會長 阪谷芳郎閣下

早法戰雨で中止

二十九日擧行豫定の東京六大學リーグ戰慶應對立教及び早大對法政の一回戰は雨のため中止となつた

日本基督教會

一、日曜學校 午前九時
一、聖書禮拜 午前九時五十分
說教「神は我が牧者なり」 石川牧師
一、夜の禮拜 午後八時
說教 沖野喜資

となる見込みであるから希望者は締切りとならぬうちに至急申し込まれ度い

日の出を拜する集ひ

日の出を拜する集ひは三十日西公園試忠碑前にて市民早起會を擧行、新京の日の出時刻は午前五時、右終つて忠靈塔參拜、同所にて憲兵訓練所松本七郎氏の講話があるはず

大村副總裁來京

滿鐵副總裁大村卓一氏は三十日午前八時十分の列車で來京同八時四十分發京圖線に乘替へ圖們へ向ふ豫定

明坂秀さん逝去

市內日本橋通り二十七番地みしまや呉服店主人明坂秀さんはさる十五日から急性肺炎で新京醫院に入院加療中のところ十七日から危篤に陥り一時小康を得てゐたが昨夜來容態革り午前一時三十分藥石効なく近親者、國防婦人會員に見護られながら永眠した享年六十一才、秀さんは女手で店を經營の傍ら昭和九年九月九日大日本國防婦人會新京支部設立と同時に推されて日本橋分會副分會長となり、同十年九月前分會長濱田夫人の後をうけて同分會長に推され、以來銃後の護りの本分を盡し寒暑の差なく傷病兵、遺骨の送迎お通夜等會員に率先してよく老體を報國に捧げ部下の會員には慈母の如く親しまれてゐた今回の永眠は各方面から惜まれてゐる、なほ葬儀は三十日午後五時から祝町西本願寺で營まれる豫定である

あす（三十日）

▲忠靈塔春季大祭 奉納武道、正午—五時 滿洲芝居、手踊並に舞踊、同 軍樂隊演奏、同 兒童舞踊、午後一時半—四時
▲全滿中等武道大會、午前八時、新京商業講堂
▲里見岸雄氏講演會、午後二時、滿鐵事務局會議室
▲佐賀縣人會、午前九時、西公園內
▲三州會、午前九時半、西公園內
▲長野縣人會、午前九時半、西公園內
▲富山縣人會、午前十時、西公園內
▲愛知縣人會、午前十後半、西公園內
▲島根縣人會、午前十一時、大同公園內
▲土門嶺ハイキング、午前十時三十五分出發
▲ハイクと旅の展、三中井
▲大屯娘々祭最終日
▲競馬
▲ハリウッド、レヴュー公演 豐榮劇場
▲「白衣の天使」上映、正午より、西廣場滿鐵俱樂部
▲野球リーグ戰、午後二時滿洲國對電々、五時電々對新京、西公園球場

◎今晩の主なる演藝放送◎
▲八・〇〇連續ラヂオ小說「春の夜明け」（東京）森赫子外
▲八・三五講談「大岡裁き指手錠」（東京）小金井蘆洲
▲九・〇〇世界音樂地理（東京）藤山一郎外
▲一〇・〇〇義太夫「近江千本櫻」（奉天）三吉外

母秀儀豫而病氣の處養生不相叶五月二十九日午前一時死去致候間生前辱知各位に謹告仕候
追而告別式の儀は五月三十日午後五時祝町西本願寺に於て相營可申候
新京日本橋通り みしまや
男 明阪謙一
男 明阪英夫
親族總代 大西庫次
友人總代 鳥名福十郎
日本橋區長 宇野常吉

當日本橋分會長明阪秀殿豫而病氣の處養生不相叶五月二十九日午前一時逝去致候條此段辱知各位に謹告仕候
五月二十九日
大日本國防婦人會
新京日本橋分會

父市之助儀豫而病氣の爲め福岡帝大病院へ入院加養中の處養生不相叶二十四日永眠致候に付き此段御通知に代へ謹告仕候
追而遺骸は福岡にての茶毘に附し三十一日午後四時曙町長春寺に於て告別式相營み可申候
昭和十二年五月二十九日
新京日本橋通七八番地
嗣子 藤エ憙
妻 イ
親族總代 松本龍雄
森市太郎
末松正實
友人總代 船越喜代次
仲田三郎
高井源太郎
福岡縣人會總代 川上謹一
藥業組合總代 石橋米一
日本橋區町內會總代 宇野常吉

漫才王横山エンタツ 近く來演決定

PCL映畫「あきれた連中」「これは失禮」「心臓が強い」等でお馴染みの吉本興行專屬漫才爆笑王横山エンタツ一行が近く公會堂に來演することに決定した、口をついて出る輕妙な諧謔と、この人の有つ一流のユーモラスな動きを今度は舞台の上で見ることが出來る譯で早くも來演が待たれてゐる、一行は卅日大連に上陸大連劇場を振り出しに沿線主要都市を巡演する豫定である【寫眞は横山エンタツ】

沙漠の黄金 けふからの朝日座

朝日座廿九日よりの番組は左の如くパラマウント一番線に日活大都作品を配した三本立編成である

▽パラマウント「沙漠の黄金」ラリイ・バスタ・クラブとマーシャル・ハントの主演する西部劇、ジエームス・ホーガンの監督作である

▽日活多摩川「試驗地獄」中田弘二、黒田記代、高木永二等の主演する映畫で親、教育家達に示唆に富んだ内容を持つてゐる倉田文人の監督作品

▽大都「戀愛靑春街」後篇ハヤブサヒデト、佐久間妙子主演映畫

滿語錄音の「觀光日本」 六月末封切

觀光日本を廣く滿人層に宣傳すべく總局旅客課では最初の試みとして佐藤旅客課員、滿鐵映畫製作所星野、古山兩カメラマンを哈爾濱訪日觀察團に隨行せしめ、哈爾濱を皮切りに朝鮮、宮島、大阪、京都奈良、名古屋、東京、日光、熱海、神戸、別府、門司と滿人の觀察コースを主題として日本內地の風景映畫を去る四月下旬から一ケ月にわたつて撮影中であつたが、一行はこれを四千呎のフイルムに收め廿八日午前七時四十分着「のぞみ」で歸奉した、同映畫は觀光日本と題する四卷物に編輯、P・C・Lで滿語錄音をなし、六月末までには全滿各地で封切されることゝなつてゐるが、總局の滿語錄音の製作はこれが最初で、滿人層へも呼びかける觀光宣傳に新機軸を開くものとして期待されてゐる

雜音

帝都キネマの「沙漠の花園」一は豫想通りの好調を見せ代田氏が例の癖で館内をバタついてゐる▼豊劇の「ハリウツドレヴュー」はけふから開演、異色のあるところ甚だ魅惑のあるものだ▼エンタツが來るし幸四郎の來演も決定した、地元では「五色會」が生れてこのところ色ものも仲々賑やかである▼朝日座の寫眞替り「沙漠の黄金」が封切られるのが目につく、大もの「沙漠の花園」に題名だけで側面攻撃を喰はせる藝當は、一應面白いものと言はれやう

日曜 丁巳 赤口 建 房宿　舊四月廿一日 五月三十日

●一白の人 千辨屈せざる勇氣を持すれば益々伸長せん 甲と乙と丁が吉

●二黒の人 意外の轉落を生ずる日自重すれば平かなり 丙と庚と壬が吉

●三碧の人 吉なりと思はるゝ事にも熟慮再考すべき日 乙と丙と丁が吉

●四緑の人 勢に任せて進まざれば相應の利潤も獲得す 甲と乙と丙が吉

●五黄の人 己の地位を侵さるゝ懸念あり上下親むべし 丁と申と寅が吉

●六白の人 波瀾重疊の日起業開店見合せ病盗難の警戒 乙と丁と辛が吉

●七赤の人 弓折れ矢盡くるが如く戰鬪力を失はんとす 壬と癸と丑か吉

●八白の人 堅忍不拔の意氣を以て事に突進すべし後吉 丙と申と癸が吉

●九紫の人 手腕程に成績を擧げ得ざるも落膽せず進め 己と申と癸が吉

▽▽寺小屋△△

新興京都作品、歌舞伎狂言「菅原傳授手習鑑」の映畫化であつて大谷日出夫、尾上榮五郎、市川男女之助、淺香新八郎、嵐德三郎、鈴木澄子、森静子、梅村蓉子、高山廣子、國友和歌子等が主演、八尋不二のシナリオにより木藤茂が監督に當つたストオリイは語るまでもなく既に有名である、體格の大谷日出夫一黨がどこまで舞台模樣を再現出來るか、新興最近の企畫を代表する一作、銀座キネマ卅一日封切

第一部 豫想投票用紙 新京陳列窓装飾競技會

一人一票に限る

壹等	貳等 一席	貳等 二席	參等 一席	參等 二席	參等 三席	件所	氏名

用紙外の投票無効

備考
イ、日人商店を第一部とし、滿人商店を第二部とす
ロ、投票者に於て部別を明記せざるものは無效とす
ハ、締切日 五月三十一日午後十時
ニ、投票場 日本橋通電業支店、新興安大路營業所、城內營業所、新京輸入組合

第二部 豫想投票用紙 新京陳列窓装飾競技會

一人一票に限る

壹等	貳等 一席	貳等 二席	參等 一席	參等 二席	參等 三席	件所	氏名

用紙外の投票無効

備考
イ、日人商店を第一部とし、滿人商店を第二部とす
ロ、投票者に於て部別を明記せざるものは無效とす
ハ、締切日 五月三十一日午後十時
ニ、投票場 日本橋通電業支店、新興安大路營業所、城內營業所、新京輸入組合

豫算の增額行はず 工事は中止繰延

滿鐵の物價對策決定を見る

【大連國通】最近の物價騰貴は滿鐵の諸工事に甚大なる影響を及ぼし非常な困難と支障を生じ、これが對策につき先般來關係者間で協議を進めつゝあつたが、去る廿六日大村副總裁、卅山理事、鹿野用度部長等が參集、物價對策に關する最後的協議を遂げた結果滿鐵は會社現在の財政狀態に鑑み豫算增額等絕對に行はず工事の中止又は繰延べによつてこの難關を切り拔ける方針を決定した、即ち過般計畫された鐵道總局宿舍の建增を始め不急の諸工事中鐵鋼製品等高率騰貴を示せる材料を使用する工事は多少の不便、不自由はしのんでもこれを繰延べ交通、港灣等國策的事業の遂行に支障を生ぜざる樣考慮することゝなつた、右につき大村副總裁は次の如く語つた

最近の物價騰貴は眞に困つたもので滿鐵では至急を要せぬ工事は多少の不便、不自由はしのんでも繰延べる事とした、物價騰貴が下級從業員の生活に與へる影響についても怠らず注意を拂つてゐる、炭價の引上げ問題は物價高を更に助成する結果を生ずる虞れがあるが愼重に研究せねばなるまい

では意義をなさず、關係各地の稅關、驛、代辨、荷主等各方面の參加を求める必要ありとし、各地に案內を發して事實上裏日本と鮮滿各地の主要機關の一大懇談會となすべく計畫してをり、提携出席を要望する聯絡各地は左の通りである

新京、齊々哈爾、哈爾濱、海拉爾、吉林、牡丹江、敦化、佳木斯、龍井、延吉、琿春、開山屯、清津、咸興、元山、南陽、雄基、羅津、會寧、羅南、新潟、伏木、敦賀

東洋パルプ工場 起工式擧行

【圖們國通】圖們郊外石峴における東洋パルプ股份有限公司の地鎭祭ならびに起工式は二十六日正午から同敷地において擧行された、工事は今年十二月中には全部完了し、明春からはパルプ製造の操業開始を見る豫定である

滿鐵、傍系會社の 監理方針決定

總て國策的に統制

【大連國通】滿鐵と滿鐵傍系會社の關係を改善すべき關係會社の新監理方針については新任高田監理課長が

今後の傍系會社は一社一事業の繁榮を期するが如き單獨方針を排し滿洲國の經濟統制方針に合致する樣滿洲全般の統制的生產販賣方針に服せしめこれを關係會社監理の原則とする

旨闡明し、全傍系會社の國策的、統一的監理方針を明かにしたが、今回これが具體化の第一步として監理課內部の組織を左の如く變更した、すなはち監理課は實質的に部制とし從來の第一より第五に至る係の會社分擔の廢合を行ひ、且つ係主任の上に監査役を置いて關係會社の經理會計のみならず事業計畫、人事其他會社の全般の內容に關與せしめることにした、これによつて從來の監査役が會計監査のみに止まつてゐたゝめ事業審査の係との間に摩擦を生じてゐたのを圓滑にすると同時に、關係會社と滿鐵の關係を更に緊密ならしめうることゝなり、また監査役は傍系會社の事業計畫とその進行狀況、豫算、決算、人事に至るまで接觸面を持つことゝなり、新たなる傍系會社監督の實績を擧げることゝ期待されてゐる

在奉滿人側銀行の 信用貸付激增

最近商工界の好況を反映

【奉天國通】奉天における滿人側一般普通銀行業者の營業狀態はすでに合併增資改組等の整理時代を過ぎて陣容を一新し積極的活動を開始してゐるが、最近業態の伸展に伴ふ奉天商工、奉天商業、審陽、瀋業等の各銀行は市內の確實なる資產信用ある商工業者に對し競爭的に信用貸付をなし、その貸付額は總額百廿萬圓に上つてゐるが、在奉銀行の信用貸付激增は最近の商工界の好況を反映するものとして注目される

東亞見本市 契約高前年に 匹敵

【大連國通】第二回東亞見本市は廿八日を以て四日間の會期を終へたが、入場者四千を超え契約高前年の四百五十萬圓に匹敵するものとみられてゐる、同見本市は實物取引の目的を果すことを得、直ちに任意に解散するが、一部の出品者中にはなほ當地に居殘つて交渉中の取引の結末をつけるものもあり、他の一部は奧地に向ふ者もある、昨年行はれた貨物輸送座談會は見合せることゝなつた

鐘紡の東滿人絹合併 當局既に諒解

鐘紡系東邦パルプ工業會社が東滿人絹パルプ會社の支配權獲得に關聯して滿洲國實業部當局が國內パルプ企業の統制方針に悖るものとしてその獲得に强硬な反對をしてゐると一部に傳へられ成行は非常に注目されてゐたが最近に至つて右は明らかな誤傳であることが判明、鐘紡系並に舊東滿人絹パルプ會社の申請は完全に諒承せられ從つて同社の合併は豫定通り行はれるのみならず事業會社たる東滿人絹パルプ股份公司の社長は藤田謙一氏に代つて津田信吾氏が就任することも併せ決定した、即ち同社では合併決議に基き直ちに同社に社員を派遣せしめ軍並びに當局に報告諒解を求めた處完全な諒解を得るに至り斯業の今後の推進努力となる事となつた譯である

懸案の增資問題がいよいよ切實化して來た

滿鮮商議懇談會 圖們で開催

【圖們國通】圖們の日本商工會議所では豫て計畫せる東北滿ならびに北鮮商工會議所の理事の聯合懇談會を愈よ七月二日から三日間圖們に開催と決した、いふまでもなく北鮮三港の商圈を常道化して日本海の船運賃、通關、鐵道運賃の本格的な改正にまつて裏日本と鮮滿通絡の經濟化を促さうといふので、これには單に關係地方の理事ばかりの集會

鐘紡株拂込 最終分を徵收

【東京國通】鐘紡では二十七日本社に重役會を開き同社新株一株につき十二圓五十錢（最終拂込）總額百四十六萬八千圓の拂込みを九月一日期限をもつて徵收することに決定した

右の結果同社の資本金は六千萬圓（全額拂込濟）となり、

請負契約書擔保に 興銀より融資す

土建協會奉天支部、交涉に成功

滿洲土建界の活況に伴つて多額の資金を要する在滿土建業者は滿洲興銀設立によつて舊三行時代の融資方法が悪かれてゐるためこれが改善を目ざして滿洲土建協會奉天支部ではヤマトホテルに於て松田興銀理事、齋藤同支店長の出席を求め關係者五十餘名出席隔意なき意見の交換を行つたその結果在滿土建業者の要望する舊三行時代の金融方法、即ち請負契約が成立した場合業者が銀行に債權讓渡する事によつて着工前に或る程度の融資を土建協會の保證に依つて行ふ事となつたがこれによつて業者に齎らされる便宜は多大なものでその成果は早くも注目されてゐる

土建ニュース

決定工事

▲西部組懸炭層採堀作業工事 ●撫順炭鑛
單獨　一萬九千四百五十八圓　大倉組

▲選炭作業工事
單獨　四十三圓　碇山組

▲西山捲崩岩整理作業工事
單獨　七千五十七圓四十三錢　碇山組

▲貯炭積込作業工事
單獨　百十三圓十六錢　榊谷組

▲選炭作業工事
單獨　百九十五圓十二錢　榊谷組

▲選炭作業工事
單獨　二十六圓四十錢　榊谷組

▲西二貯炭場通路土工其他工事
單獨　七百三圓七十四錢　榊谷組

▲捲機基礎道地築作業工事
單獨　二百九十七圓九十二錢　榊谷組

▲西五捲崩岩整理作業工事
單獨　一萬一千百四十一圓六十八錢　榊谷組

▲東七捲炭層採掘作業工事
單獨　一萬一千五十九圓四十錢　榊谷組

▲西一捲炭層採堀作業工事
單獨　四千五百六十九圓十二錢　榊谷組

▲元捐拍保クラブを採炭事務所に模樣替其他工事
落札　四千八百二十圓　飛島組
四、九六八、〇〇　神日井組
五、一〇〇、〇〇　田中組
五、一三〇、〇〇　細井組

▲西部工務區建物及工人社宅を模樣替並に移轉工事
單獨　一萬五千三百圓　西津組

▲捐拍堡選炭機ヤード土工坑道マーチ捲工事
落札　二萬六千九百五十圓　太倉組
二七、三〇〇、〇〇　榊谷組
二八、〇一〇、〇〇　福昌公司

決定工事
▲草河口驛中ホーム改築工事 ●鐵道部
落札　一千七百九十圓二錢　白川洋行
一、八八九、〇〇　草場組
一、九七四、〇〇　尙厚溫

▲八王子工場增改築其他工事 ●被服廠
落札　三千二百八十圓　大津組
三、三八〇、〇〇　同興和公司
三、六五〇、〇〇　高山組
三、七〇〇、〇〇　神崎組
三、九五〇、〇〇　京城阿川組

▲大房身余水吐工事 ●水制合作社
落札　三千七百八十圓　榊谷組
三、九〇〇、〇〇　復興公司
四、一〇〇、〇〇　吉川組
四、六五〇、〇〇　長谷川組

決定工事
▲王常縣橡樹縣省境間國道改 ●省公署

…造工事
落札　一萬圓　森田組
一〇、二〇〇、〇〇　吉川組
一〇、三五〇、〇〇　鐵道工業
一〇、五〇〇、〇〇　大同組
一六、〇〇〇、〇〇　高岡組

▲機務段抗段炭練習模型室上家新築工事 ●哈爾濱工務段
示談　一千三百七十八圓　辻組

予告工事
▲營口稅關奉天犬育成所新築及增築之內煖房裝置工事 ●營繕需品局
開札　五月三十一日

決定工事
▲市立醫院汽罐補水鄉筒裝置工事 ●市公署
示談　一千五百五十圓八十錢　中村商會
第二回入札　一、五七〇、〇〇　右同
一、六〇〇、〇〇　勝本商會
辭退　三井物產　日立製作所
第一回入札　一、四八〇、〇〇　中村商會
一、四七〇、〇〇　勝本商會
辭退　三井物產　日立製作所

▲本署後院第一四七號、內部模樣替工事
落札　百八十四圓　東新公司
二〇九、〇〇　協和公司

▲牡丹江電報電話局增築工事 ●電々會社
▲牡丹江電話局增築の內暖房工事
▲牡丹江放送局送信所
右三件、第一、二回豫超未決

▲哈爾濱種馬場飛舍其他增設電氣工事 ●營繕需品局
落札　九百三十八圓　中和電氣
九二五、〇〇　大連電氣
九五一、〇〇　植村電氣
九八〇、〇〇　野口電氣
二、一〇〇、〇〇　山上電氣

▲總務廳長官邸擁壁新設工事
落札　一萬四千九百八十圓　飛島組
一五、一〇〇、〇〇　辰村組
一五、三〇〇、〇〇　松浦伊平組
一五、四〇〇、〇〇　三田組
第一回入札
一五、八五〇、〇〇　三田組
一六、六五〇、〇〇　鈴木組
一六、七〇〇、〇〇　松浦伊平組
一六、三〇〇、〇〇　飛島組
一六、四五〇、〇〇　辰村組

▲國務院廳舍試寫室濟幕取付工事
第一回入札　豫超未決
六、三〇〇、〇〇　吉川商會
七、四〇〇、〇〇　山葉洋行

▲新京露月町第一七號外三棟丙種社宅一六戶改築工事 ●事務局
落札　六千百七十六圓　尙厚溫
九、三〇〇、〇〇　近藤壽三郎
九、八〇〇、〇〇　長谷川組

▲新京錦町第三號丁社宅一棟二戶內部改造工事
落札　二千三百五十九圓　柿崎組
二、五五〇、〇〇　志岐土木
二、八三〇、〇〇　辻組

予告工事
▲大屯丁社宅四戶新築工事
▲蒙家屯丙種社宅一戶新築工事
▲范家屯獨身社宅增築工事
▲范家屯小學校汽罐室增設其他工事
右四件　開札　五月卅一日午前十一時 ●大連工事々務所

決定工事
▲鐵金町二十二號社宅外二六…

…ヶ共同廊下床及側壁修繕工事
示談　八百四十七圓九十二錢　三井恒三

▲實岐町加茂川町乙種社宅八戶煖房裝置工事
落札　一千七百六十五圓　田中勝商會
一、八九五、〇〇　松決商會
一、八八〇、〇〇　中島平治

▲回春街二、一、三、社宅外二九戶壘修繕工事
豫特　二百三十八圓　佐田トシ

▲白城子獨身宿舍新築工事 ●齊々哈爾鐵路局
落札　六萬一千九百八十圓　京城土木
六二、五〇〇、〇〇　東生公司
六三、八〇〇、〇〇　錢高組
六九、四〇〇、〇〇　戶田組

▲齊々哈爾第一區家族局宅新築工事
八四、七〇〇、〇〇　福昌公司
九三、〇〇〇、〇〇　滿川組
九七、八〇〇、〇〇　東亞土木
九九、三〇〇、〇〇　大同土木

▲齊々哈爾第二區家族局宅新築工事
落札　四千百五十圓　三田組
四五、一〇〇、〇〇　草場組
四八、二〇〇、〇〇　松本組
四九、三〇〇、〇〇　鹿島組
四九、七〇〇、〇〇　榊谷組

▲齊々哈爾獨身宿舍新築工事
落札　六萬二千五百圓　志岐土木
六四、〇〇〇、〇〇　京城土木
六三、〇〇〇、〇〇　鹿島組
六六、〇〇〇、〇〇　間組

▲白城子日本人家族局宅新築工事
落札　六萬四千八百圓　松本組
六七、五〇〇、〇〇　三田組
辭退　草場組　福昌公司

▲海拉爾站給水栓排水管新設工事
落札　一萬六百五十五圓　東亞土木
一〇、九五〇、〇〇　坂本組
一一、五〇〇、〇〇　眞田水道
一一、六五〇、〇〇　新京阿川組

▲克山病院新築工事 ●龍江省公署
落札　八千九百圓　永豐工廠
九、一〇〇、〇〇　第二工公
九、三〇〇、〇〇　吉川組
九、四五〇、〇〇　福昌公司
九、五四〇、〇〇　協信公司
九、五五〇、〇〇　大營組
辭退　草場組　京城阿川組

商況欄（五月二十九日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　二〇片四分一
同先限　二〇片六分五
同金塊七磅　〇志六片〇〇
紐育銀塊　四五仙〇〇
同金塊　三五弗〇〇
孟買銀塊　五二留比六分九
英米爲替　四弗八八一仙
日米爲替　二九弗二九仙
米支爲替　二九弗三仙九四
スチール株　一〇〇弗四分三
アナゴンダ株　五四弗四分三
日英爲替　一志二片〇〇
英支爲替　一志二片六分九
日印爲替　七七留比二分一

▲米棉
現物　一三仙三〇
七月限　一二仙八〇
十月限　一二仙七四
十二月限　一二仙七一
一月限　一二仙七六
三月限　一二仙八〇
五月限　一二仙八三

▲印棉
ブローチ　二三九留比
オームラ　二三〇留比
ベンゴール　一九九留比

▲市俄古小麥
五月限　一弗一五仙八分七
七月限　一弗一四仙〇〇
九月限　一弗一五仙八分五

▲カルカッタ麻袋
背筋　二四留比二六分三
鐵筋　二二留比二六分七

金銀市況

●上海標金　本寄　二四〇、五〇

爲替相場

▲上海爲替
日本向　第一回賣　一〇三、六二五　買　一〇三、八七五
第二回賣　一〇三、六二五　買　一〇三、八七五
倫敦向　第一回賣　一志三片二分一　買　一志三片二分七
第二回賣　一志三片三分一　買　一志三片三分七
紐育向　第一回賣　二九弗一六分五　買　二九弗八分七
第二回賣　二九弗一六分五　買　二九弗八分七

▲阪神日米爲替　賣　二八弗四分三　買　二八弗一分三

▲阪神日英爲替　賣　一志二片三分三　買　一志二片〇〇

▲滿洲中央爲替
上海向　九六弗一〇〇
天津向　九六弗四分三
紐育向　二八弗〇〇
倫敦向　一志二片〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
東新	一二三、六〇	一二三、八〇
日產	七九、七〇	七九、五〇
鐘紡	二〇〇、六〇	二〇〇、四〇
滿鐵	五九、六〇	五九、四〇
大新	九三、六〇	九三、一〇

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
新東	九三、九〇	九三、〇〇
日產	八〇、一〇	一二三、六〇
鐘紡	一二三、六〇	一二一、五〇
大新	五九、六〇	五九、七〇

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
日產	一二三、九〇	—
鐘紡	二〇三、〇〇	—
同新	一六、七〇	—
滿鐵	五九、五〇	—
東新	八〇、二〇	—
豆品	二五、五〇	—

▲奉天株式（短期）

	寄付	大引
取新	一三、七〇	—
東新	一二三、七〇	—
大產	四〇、〇〇	—
日品	八〇、〇〇	—
五新	一六、六〇	—
豆新	二〇、〇〇	—
鐘新	一二三、〇〇	—
滿毛	二五、六〇	—

各地商品市況

	寄付	大引
滿鐵新	二三、七〇	—
同甲	五九、六〇	—
電乙	四八、四〇	—
同拓	二一、五〇	—
東斯	二九、四〇	—
瓦	六七、一〇	—
電業	三七、〇〇	—

▲大阪棉糸

	寄付	大引
五月限	納會	納會
六月限	二六八、五〇	二六八、五〇
七月限	二六四、七〇	二六五、一〇
八月限	二六二、四〇	二六三、四〇
九月限	二六二、五〇	二六一、六〇
十月限	二六〇、五〇	二六〇、〇〇
十一月限	二五八、九〇	二五八、一〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	納會	納會
先限	八〇、四五	八〇、〇四

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	納會	納會
先限	七九、五〇	七九、五〇

各地特產市況

▲新京　現物（一石値段）

	寄引	出來高
大豆	—	—
高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀	—	—
先物	—	—

▲大連

	寄付	大引
●大豆 五月限	六、三三	三四車
六月限	六、四五	六、四五
七月限	—	二〇車
●高粱 五月限	三、四〇	一車
六月限	三、五一	三、四四
七月限	三、六〇	三、五六
袋入	七、五六	七、六三
●大豆 五月限	七、二六	七、三二
六月限	七、二七	七、三〇
七月限	七、三三	七、三三
八月限	七、三〇	七、二七
九月限	七、二一	七、一〇
三十箇月限	—	—
●豆粕 現物	三、六五	三、六五
六月限	三、七〇	三、六〇
七月限	三、七〇	三、六五
八月限	三、七〇	三、六八
九月限	—	—
●豆粕 現物	二〇、五〇	二〇、五〇
六月限	二〇、五〇	二〇、五〇
七月限	—	—
八月限	—	—

新京日日新聞 朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價(郵稅一部五錢 一ケ月壹圓 一ケ月拾五錢)
廣告料金(普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢)
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇)
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

護國の聖地に眠る英靈
樂土共に永劫に安かれ
新綠の香に偲ぶ治安血史へ
捧ぐ祈り、全滿の盛典

昭和十二年度春季忠靈塔祭典は三十日全滿忠靈塔一齊に執行されることゝなつた、この日新京にては午前八時四十五分から新京忠靈塔に於て莊嚴なる大祭並に合祀祭が執行される

式次第は祭典委員長神職外一同着席
▲先修祓
▲次御扉を開く
▲次神饌を供す
▲次祭主軍司令官參着
▲次神官祝詞を奏す
▲次祭主祭文を奏す
▲次祭主軍司令官玉串奉奠
▲次滿洲國〇〇〇〇御參拜
▲次〇〇〇〇〇御參拜
▲次軍司令官退下
▲次玉串奉奠＝(一)祭典委員長(二)神官(三)遺族代表(四)陸軍代表(五)海軍代表(六)大使館代表(七)關東局代表(八)滿鐵代表(九)滿洲國代表(十)新京在鄉軍人聯合分會代表(十一)在新京日本人代表(十二)傷病軍人代表(十三)新京婦人團體代表

終つて祭典委員長の挨拶があつて九時四十分一同退下、午前十時から團體參拜が開始されるが午後四時迄御扉開扉のまゝ一般の自由參拜を許すことになつてゐる、なほ參拜者は左の各項を心得られたいと

(一)服裝＝武官は軍裝にして略綬を佩用せらるゝこと、其他は右に準ずる服裝をされること、配付の標識は式場に參入の際左胸部に佩用されること

(二)參入退出＝午前八時三十分迄に參道正門より參入されること、祭典終了せば靜かに西門から退出すること、此際忠靈塔前を横切らぬこと

けふ忠靈塔春季大祭

昨夕、小雨そぼ降る中に 莊嚴な合祀奉告祭

新京忠靈塔に合祀する五十九柱の英靈の合祀奉告祭は廿九日午後七時から執行された、暗雲深く垂れ小雨そぼ降る中を祭典委員長伊藤少將以下祭典委員所定の位置に着席、新京神社神職の修祓あり奏樂の中に恭しく御扉を開き神饌を供し、植村神職の祝詞奏上のち伊藤祭典委員長玉串を奉奠拜禮、神職玉串奉奠拜禮、再び奏樂裡に神饌を撤し御扉を閉じこゝに莊嚴なる合祀奉告祭は滯りなく終了した(寫眞は合祀奉告祭)

英新內閣顔觸

【ロンドン廿八日發國通】チエンバレン新首相は廿八日午後後繼內閣組織を完了閣員表を捧呈したが、新內閣の顔觸れ次の通り

首相ネビル・チエンバレン 藏相サー・ジョン・サイモン(現內相) 樞相ハリファックス卿(現國璽尚書) 內相サラ・ミユエル・ホア(現海相) 商相オリヴア・スタンレー(現文相) 法相ダッフ・クーパー(現陸相) 陸相ホアー・ベリーシヤ(現運輸相) 國璽尚書デラワイ卿、保健相サー・キングスリー・ウッド(留任) 文相スタンホープ卿、運輸相バーギン博士、大法官ヘールシヤム卿(留任) 外相アンソニー・イーデン(留任) 國防調整相サー・トーマス・インスキップ(留任) 自治領相マルコム・マクドナルド(留任) 植民相ウイリアム・オウムス・ビーゴア(留任) 勞働相アーネスト・ブラウン(留任) 土木相サー・フイリップサスーン(現空軍次官) 農業相ウイリアモリソン(留任) 印度事務相ゼツトランド侯、スコツトランド相ウオルター・エリオツト(留任)

外務辭令

【東京國通】
領事(厦門)山田芳太郎
任外務事務官(四等)補外務大臣秘書官
領事(南京)松村基樹
任外務事務官(五等)東亞局第一課勤務を命ず

流木を囮として 滿人拉致を計る
ソ聯の奸計、見事失敗

ソ聯側では我國境地方の狀況偵察のため從來もしばしば越境し來りて地方住民を拉致し去つたのであるが、その拉致の方法は極めて黑辣亂暴で、最近外交部に達した報告には左の如き例がある

虎林縣城の住民中にはウスリー河の流木を拾つて生活の扶けとしてゐるものもあるので、ソ聯側は流木を囮としてこれ等の人達をおびきよせて逮捕拉致する計畫を樹てたものとみへ四月廿七日の晩ソ側は丸太をソ領江岸より繋留したまゝ川の中央に浮流せしめ附近の江岸にゲ・ペ・ウを潜伏させて滿領住民の接近するを待伏せしてゐるが、滿側では一般に警戒を發して彼等の計略に乘らぬやう注意し、引續き監視中のところ三日の後ソ側は計略の不成功に業をにやしたものか、丸太をさらに大きなものと取りかへ直徑二尺ぐらゐ長さ二間ぐらゐのもの二本を浮流させてなほも執拗に滿領住民を誘きよせんと努めたがなかなか滿領住民の近寄るものなかつたのでソ聯側もつひに斷念して五月二日の朝に至り丸太を引揚げゲ・ペ・ウも引揚げた

塘沽沖事件に
旅順要港部嚴重抗議

【大連國通】塘沽沖の邦人漁船不法射擊事件に關する旅順要港部、關東海務局、水上署等の打合せ會議は浦要港部參謀を中心に廿八日午後も引續き行はれた結果、事件は旅順要港部の警備區域內で惹起した不法事件として早速關係調書を取纏めた上、近く天津駐在武官を通じ支那側に嚴重抗議する筈

川端龍子畫伯 けふ來京

【大連國通】京都日本畫壇の重鎮青龍社の總裁川端龍子畫伯は次男嵩氏を同伴廿九日午前入港の「吉林丸」で來滿したが今回の來滿は滿洲國皇帝陛下へ御進講の御下命があつたのと嵩氏が去る三月末まで公主嶺の長谷川部隊にあつて伍長に任官除隊歸國した御禮の挨拶も兼ねまた畫伯が過去四ケ年にわたつて製作した大作「海の生命線」四部作に續き皇紀二千六百年記念式典までに「陸の生命線」四部作を完成するため主として熱河山海關方面に畫題を求めての來滿であるが、廿九日は大連に一泊卅日「あじあ」で北行、新京に數日間滯在直ちに承德に赴く筈

五ケ年計畫投資は
國際收支に影響
大藏省、惡化を憂慮

【東京國通】滿洲國產業五ケ年計畫については目下田中中銀總裁、田中理財司長、佐々木滿鐵理事等が東上して大藏省、對滿事務局、シンヂケート等內地關係各方面の諒解を求めてゐるが、これに關し大藏當局は日滿一體とした國際收支の見地からつぎの如き希望を抱いてゐる、すなはち日滿兩國は通貨において等價關係を確立しさらに爲替關係において完全なる一體化を圖ることゝなつてをり、從つて五ケ年計畫所要資金を內地より供給することは同一區域內の資金移動とみて差支へないから資金供給自體はさして問題でないが、產業五ケ年計畫遂行上巨額の物資を必要としこれを外國に仰がねばならぬとすれば日滿一體とした國際收支に甚大な影響を免れない、さらでだにわが國の尨大豫算の强行から國際收支の惡化が憂慮されてゐる折柄滿洲國產業五ケ年計畫に於ても物資需給の見地から考慮を要するといふ見解を抱いてゐる

滿鮮直通貨物運賃
八月實施の運び
近く京城で打合會議

【奉天國通】日鮮滿經濟ブロック方針の樹立にも拘らず產業經濟活動の動脈をなす日鮮滿貨物輸送は滿洲事件前と何等變るところなく日滿ならびに滿鮮間貨物輸送契約並びに運賃制度は鐵道省、鮮鐵及滿鐵社、國線運賃の合算制となつてゐる爲、著しい高運賃と煩雜なる手續きに惱まされて來たが、去る五月十二日より三日間東京で開催された日滿運輸關係機關の最後的打合せ會議において客年來の懸案となつてゐた日滿間貨物直通運賃制に關する原則的事項が可決せられ、來る八月一日より實施せられる運びとなり、また日滿關係に劣らぬ重要性を有する滿鮮直通貨物運賃設定についても日滿直通運賃制と併行して鐵道總局と鮮鐵との間に折衝中のところ、愈よ兩者間に基本的意見の一致を見るに至つたので來月十三日より三日間京城に於て總局、鮮鐵の打合會議を開催、鮮鐵より諸富貨物課長、總局より佐藤營業課長以下貨物關係者が出席、新滿鮮直通運賃につき細目的打合せをなし日滿直通運賃と同時に來る八月一日より實施すべく具體的準備を進める事となつた、新滿鮮直通運賃の改訂は大體日滿直通運賃に準じて制定されるが、その要旨は

一、朝鮮發滿洲國着の小口扱雜貨、綿糸布、絹糸布の品種については制限を設けず全品に對する直通運賃を制定する
一、直通運賃は全部發着區間のキロ程によつて一率に通算する對キロ賃率となし大體二割內外の大幅引下げをなす
一、貨物等級は五等級制を採用する

といふ劃期的な滿鮮直通運賃制で、新運賃實施によつて滿鮮貿易促進に一大貢獻を齎らすものとして期待されてゐる

拉濱線々路に 爆藥裝置
轉覆を計る

【哈爾濱國通】二十八日午後十時頃哈爾濱郊外スタール哈爾濱東南方濱綏線と拉濱線のクロス驛から拉濱線を南方へ三、四十米の急カーブの場所が何者かのため爆破され、約七、八十センチの軌道がふきとばされたのを折よく附近巡ラ中の警備員が音響によつて發見、現場にかけつけて直ちに哈爾濱驛ならびに三棵樹驛に急報、同所通過列車の停止を命ずるとゝもに工務段員を總動員して復舊工事を急いだ結果、約四時間の後復活開通したが、右は拉濱線探家發哈爾濱行列車が同時刻に同所を通過するを狙つた不逞分子の計畫的犯行とにらみ日滿機關協力して犯人を嚴探中である

石塚樞密顧問官 在滿日程

樞密顧問官石塚英藏氏は深邊樞府屬、紙屋對滿事務局屬を隨へ二十九日午前九時大連入港三十日午前十時發あじあで出發同日午後六時二十分着京ヤマトホテルに投宿三十一日から六月四日まで滯在、四日午前八時二十分新京驛發列車で哈爾濱に向ひ五日南下奉天泊六日撫順七日鞍山昭和製鋼所を視察同日十一時奉天驛發のぞみで出發八日京城着泊九日滯在、十日午後四時十五分あかつきで出發十一時釜山着十一日下關上陸十二日東京歸着の豫定である、なほ滯京中六月一日午後二時から白菊尋常高等小學校の視察を行ふことゝなつた

人事往來

▲小野八右衛門氏(會社員)二十九日來京中央ホテル
▲生越伊助氏(材木商)同
▲王慶璋氏(奉天市長)同

航空往來

▲安坂岩彦氏(商)二十九日牡丹江へ
▲石井達郎氏(官吏)同
▲砂川儀太郎氏(商)同
▲小木曾彌三郎氏(同)同
▲西岡喜淑氏(同)同
▲井上龜氏(官吏)同チチハルへ
▲池田正男氏(中銀)同ハルビンへ
▲宇都宮治郎氏 同奉天から

偶語

神風號の輝く歸還飛行のすぐ後を追つて飛び出したドレ機は東京一歩前で無念の血涙を呑んだ▼パリ東京間百時間の雪辱に燃へるドレ氏の心中を思ふとき轉た同情の念を禁じ得ない▼同氏は昭和六年六月パリ東京間無着陸飛行を企て無着陸快翔八千キロ▼シベリヤイルクーツクで墜落不死身のドレ氏の異名を謳はれついで同九月再擧を圖つたがこれも挫折▼今春一月にはジヤビー機の雪辱目指してパリを飛び出してハノイ出發後不時着したのと今度で四度び血涙を呑んだのだ▼天候に惠まれず九仭の功を一簣に缺くに至つた事はかへすがへすもお氣の毒に堪へない▼其の挫折前の驚嘆すべき成績に加へその百折不撓の壯志は必ずや他日大成功を信ぜしむるものがある▼切角靜養ののち捲土重來素志を貫徹されんことを切望す▼今日全滿忠靈塔の春季大祭執行さる本大祭に新に合祀される英靈は▼新京五十九柱、奉天三十一柱、遼陽十二柱、安東四十四柱、旅順六柱、ハルビン二百二十六柱、チチハル二十柱、承德五柱、計四百三柱に上る▼王道樂土建設の蔭にこの犧牲あるを思ふとき在滿三千萬民衆は一人殘らず英靈の前に額づき衷心感謝の誠を捧げねばならぬ

"自然力を無視しては 政治は不成立"
十河興中公司社長談

【大連國通】興中公司社長十河信二氏は廿九日入港の吉林丸で來連、直ちにヤマトホテルに投宿したが、同社長は船中で左の如く語る

定例の出張で別にとり立てゝ言ふやうな用件はない、北支の棉花協會設置は內地紡績業者の出資の關係で未だ決定せぬが大體資本金は二百萬圓位になる筈だ、或は五百萬圓位になるかも知れない、天津方面にはなるべく早く行き度いと思ふが旅行の豫定はきめてゐない

わが國の政界は御承知の通り混頓としてゐるが、日本の大きな方針には何等の變りもなく段々と一歩一歩良くなつてゐる、狹義國防とか廣義國防と言ふが、わが國において狹義國防等を主張するものはない筈だ、總て廣義國防でなくてはやつて行けない、現在農村と都市との對立關係が問題となり農村工業化が叫ばれてゐるが、これ等も漸次農村の工業化が行はれてゐる、これは熟練工の養成といふやうなことにも關係がある、こんな點から中小商工業の指導といふことも必要になつて來る、農村への工業の分擔は諸外國でも行はれてゐるところで廣義國防から生れて來る問題だ日滿支經濟ブロックの問題にしても自然の勢に逆行してやれといふものではなく諸外國の門戶封鎖が必然的に支那をして日本との貿易を考へなければならなくなるのだ、支那は最近の幣制改革で

幣制

は漸くうまく行かうとしてゐるが、しかしこれとて入超ばかりでは結局この幣制も破壞される、これをうまく續けて行くためには支那國の開發が必要だ、支那民衆はその相手國として日本を求めてゐる、しかし一部支那政治家はこれを阻止しようとしてゐる現狀だ、この自然の勢は何時かその常道にもどることを考へ政治といふものは國際關係においても同樣自然の勢を無視しては駄目だ、この自然の力を道義の基礎にした政治でなくては永續きはしないし國際關係でも道義をはなれたものは成立しない

社説

忠靈塔の春季大祭 英靈安らかなれ

新京忠靈塔の春季大祭はけふ嚴肅に執り行はれる。想起すれば滿洲事變以來、滿洲國建設の大業に參加して銃火をくぐり、酷寒に堪え飢ゑをしのぎ而して滿洲の全土に鮮血を染めた勇士の英靈幾千柱ぞ。いま治安概ね成り王道樂土漸く完からんとするとき、われらは忠靈塔の地下深く鎭まりたまふ護國の英靈にこゝろからの感謝の念を捧げ、殘されたる任を受け繼ぎ分け擔ふて今後に進まんことをそれぞれに期するのである。斯くの如くにあつてはじめて、英靈安らかなれと祈り願ふことが出來るであらう。聖業の貫徹は幾多忠烈の士の英靈に見まもられつゝやがて成る事であらう。

國都近郊のハイキング

國都近郊のハイキング好適地が各機關の調査したところを基として續々本紙上に紹介されつゝある。ハイキングといふその事が體育保健の上に持つところの意義については改めて言ふまでもないであらう。われわれはそのほかに、國都自體が持つ自然の美や其他の特徴がひろく人々に理解され、その結果としてこの土地、環境に對する愛着が多くの人々の心情に植ゑつけられるであらうことを考へると、自ら欣快な思ひをするのである。

滿洲在住の日本人が宜しく植民地生活者的意識を取り去るべきであるといふ事が近來叫ばれてゐる。それには先づこのやうなわれわれを繞る自然的環境をわれわれに親しいものとし、愛すべきものとすることが一つの要件となるであらう。比處にも新古それぞれに歴史的な意味を持つ舊蹟は少くない。また原住民族の傳統や習俗を研究するのに役立つべき材料たるものも多く存してゐる。自然の美、風趣を見、味はふとともにそれらの點にまで探求が向けられることは、此處でのわれらの生活を豐かにし趣きあるものにするに大いに貢獻するに違ひない。

ハイキングといふ言葉は新しい。が、それと同じものが以前から行はれてゐたのである。日本に生れ育つた人ならば、遠足といふ少年の日の悦びを心愉しく思ひかへす事が出來るのであらう。そのやうな悦びが此處でも、年齡を超えて繰返されていい筈である。漢民族は「踏青」といふ言葉を、習慣を持つてゐる。これはそのまゝにハイキングに當るものと言へやう。時まさに初夏、近郊に溢るゝ緑の裝ひは爽風に乘って人々に呼び掛けてゐる。平和なる日の行樂は賑やかに、愉しくそして豐かな收穫をもたらして四邊に展開さるべきである。

汕頭事件の調査に誠意を以て當れ
帝國政府の態度表明

【東京國通】汕頭事件に關しては我方より嚴重な抗議を提出し、目下折衝中であるが、その後の情報によれば、支那側の發表せる事實相違の聲明は黨部の調査にに基いて現地官憲の報告を材料としたものであつて、政府の公式調査によるものではない旨を國民政府當局でも表明してをり、かつ關係者人間には事件の圓滿解決を希望してゐるむきがあるとのことである、一部には同事件に關し支那側では例によつて極めて不誠意な態度を持してゐるやうに傳へられてゐるが他方では前記の如き誠意の片鱗がうかゞひ得るので帝國政府としては地方的解決を困難でないとみてゐる、たゞ同事件が帝國領事館員に對する侮辱であり、かつ領事裁判權の侵害は明白なのであるから日支共同調査の必要はなく、支那側が誠意をもつて事實調査に當れば足れりとなしてゐる

革命軍空軍部隊 バアレンシアを襲撃 爆彈五十餘個投下

【ヴァレンシア廿八日發國通】スペイン内亂は全戰線にわたり久しく停頓狀態をつゞけてゐたが、革命軍の空軍部隊は廿七日夜半過ぎ突如人民戰線の牙城バアレンシアを襲撃し、市街ならびに港内に爆彈五十餘個を投下した、突然の空襲に市民は狼狽し右往左往逃げまどひ、就中米國陸軍武官エス・オー・フーク氏は寢間着のまゝ街上に避難する有樣であつた、爆彈の大半は市内目貫の場所に落下したので主要の建物卅餘戸が崩壞され米國領事館、英國空軍武官室は大破、バラグワイ公使館のサーチライトは粉碎、死者四十二名、負傷百十二名を出したが、うち六十七名は重傷である、さらに爆彈はヴァレンシア灣に碇泊してゐた英國汽船ビシゴル號、カデン號にも命中、カデン號は沈沒し乘組員七名は即死、八名負傷した

臨時物價對策 六小委員會設置 委員會で決定

【東京國通】第二回臨時物價對策委員會は廿八日午後首相官邸に開會、會長林首相、副會長結城、山崎、伍堂三相以下各委員、特別委員、幹事出席、まづ村瀬商工次官より商工省で調査せる

一、騰貴狀況
一、卸賣物價及び小賣物價の騰貴狀況
一、世界各國と日本における騰貴狀況の比較
一、運賃の騰貴狀況

等の資料につき詳細なる說明をなした後、前回に引續き討議に入り各委員より意見の開陳あり、協議の結果左の如き六小委員會を設置することを決定した

△第一小委員會 物價騰貴の原因を探求しその一般的對策及び財政、税制に關する事項を調査する
△第二小委員會 鐵その他の金屬及び石炭に關する事項を調査審議する
△第三小委員會 生產必需品に關する事項
△第四小委員會 動力、運賃その他配給關係事項
△第五小委員會 物價騰貴の結果小額所得者(勞働者、農民下級俸給生活者)の生活に及ぼす影響に關する事項
△第六小委員會 貿易、關税、爲替に關する事項

閑院參謀總長宮殿下 神風兩勇士に銀杯を賜ふ

【東京國通】閑院參謀總長宮殿下には亞歐連絡往復の大記錄飛行を完成した飯沼、塚越兩勇士を廿八日午前十一時參謀本部の總長室に御召、兩勇士に對し銀杯各一組を賜ひ、又有難き御言葉を賜はつたので一同感激して退出した

スペイン代表、痛烈に 獨伊の干涉非難 廿八日の聯盟理事會

【ジュネーヴ廿八日發國通】聯盟理事會は二十八日午後五時聯盟新會館において開會議長エクアドル代表アントニオ・ケベード氏司會の下にスペイン内亂不干涉に關するスペイン代表の提訴につき審議したが、スペイン代表デルバヨ氏は先づ獨伊兩國政府の干涉を痛烈に非難し次の如く述べた

獨伊兩國軍のスペイン内亂に對する干涉は依然やまずイタリー軍の如きは事實上スペイン國を侵略してゐる

イーデン英外相は右提議に關しいよいよ外國人義勇軍撤收案を理事會に上程する意向と言はれる

建國の精神に醒めた 反滿抗日の巨頭(上)
匪首王鳳閣の懺悔錄

世界觀光界の一權威とされてゐる世界觀光案內記の著者テリー氏を迎へた觀光座談會の席上、關東軍の中島大尉は「滿洲國の世界紹介に於て治安に關する限りは、多くのスペースを與へる必要はない」と語つた通り、治安確保工作の進捗を見た今日の滿洲國に於ては匪賊の問題は殊更に取上げる程の問題ではなくなつた、千、二千といふ集團匪は三年も前に擊滅されて了つて、今殘つてゐるのは、せいぜい三十、五十の手下を抱いて山岳地帶を追廻されてゐる狗盜の類ひで、百名と纏つた部下をもつてゐる匪首は殆ど擊滅し盡された有樣である

匪類の棲息地

日滿軍警の徹底的討伐によつてぐんぐん追詰められ、滿鮮ソ國境の山岳地帶に辛うじて餘喘を保つてゐるに過ぎない、[illegible]の活動の天地である曠野は彼等匪賊の姿は完全に[illegible]され農民は匪賊の脅威から解放され、自己の勢力によ[illegible]獲得した財物を匪賊に奪られるといふ不合理の生態から全く脫却し得ることとなつた、全滿の農民は今[illegible]滿軍警の徹底的匪賊討伐[illegible]渠と縣參事官その他日滿[illegible]の獻身的な地方政治改善[illegible]からなる感謝の念を捧げ、孜々營々として耕農にいそしんでゐる、もう滿洲國內には匪賊に通謀するやうな不心得の農民は一人もなくなつた、農民達は至る處で自發的に自警團を組織し防匪、防共に備へてゐる日滿軍警や地方に派遣された縣參事官達の尊い犧牲からなる軍事的政治的努力がこんなに早く、こんなにいゝ成果を齎さうとは恐らく三、四年前には何人も期待しないところだつたであらう

全滿の農民大衆は今や王道政治の有難さを自覺し、匪賊や

共匪が

放つ官民離間のデマなどに耳を傾けるものもなく、匪類の擾亂工作を毎々に失敗に終らしめてゐる、また匪賊や共產匪の新部下獲得工作には目もくれず、匪類に投合するものは根絕するに至つた、これ等數々の事績は治安問題上特筆大書すべき顯著な事柄である、獨り農民大衆のみが匪徒の間においても些かなりとも文字を解し、事理を解する手輩は建國以來の善政が地方民の間に普及徹底し、王道政治に歸依して了つた農民大衆の感情、動向が今や完全に匪類から離反して了つたといふ事實を認め歸順の機會を逸した事を後悔してゐる匪徒が少くない、去る三月通化縣において逮捕された東邊道地方に棲息する匪賊中の大頭目王鳳閣の如きも其供述において

一、滿洲建國の眞目的を理解せず、日本帝國を一圖に侵略國だと盲信し叛軍に加擔したことは不明の至りだ
二、共產匪は民心擾亂を目的とするもので、國家建設の目的などもつて居らず吾等とは不倶戴天の仇敵だ
三、中國民黨も學良一派も私黨私慾以外の何ものでもない
四、滿洲から白人勢力を驅逐するためには日本の指導援助を必要とする
五、今日の滿洲國の發展振りは眞に感慨無量である

等、叛軍に投じた自己の不明と建國當時の認識不足を悔悟してゐる、以下は王鳳閣の自供である

匪首王鳳閣の自供

自分が僞勇軍司令の一役を買つて出たのは滿洲國建國の直後の大同元年三月十七日であつた、當時滿洲國の眞相及び將來性は判明せず日本を一圖に侵略國だと思ひ込み、うかうかと自己の安逸を求むることに汲々たる滿洲からの逃亡者張學良一味の手先に誘惑され、ひと役買つて出たのは今から思へば全く不明の至りだつた、その後暫くは滿洲國の國礎、施政方針、建國の大本等は知る由もなかつたが漸次認識するに至り、自己の選んだ途が誤りであつたことを知つたが、もうその時は時期すでに遲く建國に反抗した

國賊こ

して表面に立つべき人格を失墜した自分であることを自覺し半ば自暴自棄的となり、追跡される者の果敢ない運命に弄ばされながら日一日と減少して行く敗退の匪軍を引摺りながら最後の日來るのを待つよりほかなかつた、唐聚五匪と合流してゐた頃は約二千の部下をもつてゐたが大同元年九月、唐匪敗退後は撫江縣城および撫松縣境の山岳地帶に潜入したがこゝでも日滿軍の徹底的掃蕩をうけ、據塞をつぎつぎに覆滅され一戰毎に部下の損傷、滅耗甚しく、それに流行病發生して手當の方法もなく、戰鬪力は減退の一途を辿るのみであつた、しかも新しい部下の補充は農民の離反によつて全く杜絕へて了つた、叛軍を起した當時は敗殘兵が何處からともなく寄り集つて來た、また吾々に內通する村落民もあつたが、建國の時日が經過するにつれ村落民は吾々を逆賊視し近づかうともせず、吾々に內通するどころか逆に吾々の行動を日滿軍側に密告するといふ有樣で、一般村落民の吾々に對する態度がガラリ一變して了つた、これがため追跡また追跡の運命にあつて吾々の行動はいよいよ困難となつた

そこで最後には脅迫手段に訴へて新部下の獲得に努めたがもう吾々に投合しやうといふものはなく、民心が全く吾々から離反してゐることを

痛感し

匪運の既に盡きたるを感ぜざるを得なかつた、部下は一交戰毎に減耗し、新部下の獲得は意の如くならず、流行病による志氣の沮喪等々で昨年末頃からは十分の交戰も出來ず〇寶又〇寶、遂に去る三月廿七日午後とある岩影に休息中を滿洲國軍に包圍され捕虜の身となつた

靖國神社に神燈百基を寄進

【東京國通】皇紀二千六百年を期して護國英靈眠る九段の靖國神社に神燈五十對百基を寄進しようといふ計畫がもち上つてゐる、これは去る二月柳原義光伯を會長に平沼男、大隈侯、有馬大將、荒木大將等を顧問として組織された靖國神社獻燈會の事業で、燈籠は高さ廿尺五寸の青銅作り、從來の佛式を廢し純日本的神式による見事なもの、一基の費用三千圓とし卅萬圓を一般から公募、二千六百年の大祭までには全部建設を終了、獻燈式を行ふ豫定である

熊本縣水俣町の醋酸工場大爆發

【熊本國通】廿八日午前十一時卅分頃熊本縣葦北郡水俣町日本窒素肥料會社醋酸工場大爆發し、水俣全市を大混亂に陷らしてゐる、原因は未だ不明なるも爆發の刹那一大音響と共に黑煙天に沖し全市を蔽ひ、工場の鐵片八方に四散し地震の如く人家の戸障子を震はし町民は右往左往してゐる有樣である、重傷者は同町山田病院に、輕傷者は同工場附屬病院に各十數名を收容應急手當を施してゐるが、うち三名は生命危篤、原因は詳細不明なるも醋酸工場内のアセチリン瓦斯タンクの爆發らしい

對歐國際電話料金 來月より値下げ

【東京國通】遞信省では昨秋以來逐次アメリカ諸國、フィリッピンなどとの國際電話料金の値下げを行ひ、利用者の便益を圖つて來たが、來る六月一日よりさらにヨーロッパ方面との國際電話料金遞減を實施することゝなつた、新料金は英國およびドイツとは三分間八十圓、フランス、オーストリー八十八圓、イタリー九十二圓などで從來に比し二割方の値下げである、なほこれにともなひ土曜日通話の料金も遞減せられ英國、ドイツ四十圓、フランス、オーストリー四十四圓、イタリー四十八圓、イタリー五十二圓といつたやうに新料金の半額またはそれに近いものになり、またロンドンを經由する日本と南アフリカ聯邦との通話に對する料金も遞減せられ、三分間百二十圓となつた

英前首、商兩相授爵

【ロンドン廿八日發國通】英帝ジョージ六世陛下にはボールドウイン前首相の勳功を思召され貴族に列せられ伯爵を授けられた、さらにボールドウイン夫人をG・B・E(デーム・オブ・グランドクロス・オブ・ブリテイッシュ・エムパイヤ)に、またランシマン前商相を子爵に敍せられた

旅客航空料金決定

六月一日から實施する新京東京間超特急定期航空の旅客航空料金は二十八日左の如く決定した

▲新京—奉天二十一圓
▲新京—京城六十五圓
▲新京—福岡百五圓
▲新京—大阪百四十圓
(當分寄航せず)
▲新京—東京百七十圓

なほこれと同時に從來の普通便は左の如く減額された

▲新京—奉天十八圓
▲新京—新義州三十五圓
▲新京—平壤四十五圓
▲新京—京城五十七圓
▲新京—大邱七十一圓
▲新京—蔚山七十七圓
▲新京—福岡九十二圓
▲新京—大阪百二十二圓
▲新京—名古屋百三十圓
▲新京—東京百四十七圓

林場權審查委員會委員改任

滿洲國政府では舊政權時代よりの特殊所有權にかゝる林場を整理して國有林行政の統一合理化を圖らんとし、林場權審查委員會を構成して既に大半の整理を完了したが、委員中に轉任等が多數あつたので今回左の如くその委員を改任する所あつた

民政部總務司長 大津敏男
財政部總務司長 西村淳一郎
實業部總務司長 岸信介
臨時產業調查局理事官 椎名悅三郎
司法部次長 古田正武
司法部民事司長 青木佐治彥
蒙政部總務司長 關口保
最高法院審判官 陳土杰
林場權審查委員會委員を命ず

國務院總務廳理事官 山田弘之
實業部理事官 神田暹
同 林內一炎
同 毛里富一
實業部技佐 青山敬之助
司法部理事官 松原重美
林場權審查委員會幹事を命ず

敦化方面の匪賊討伐

古山部隊河野討伐隊〇〇名は廿一日午前九時頃京圖線柳樹河南方約六十五キロの九三一高地附近に頭目不詳の匪團が山寨を構築蟠居中なるを發見包圍攻擊交戰約卅分にして敵匪を東北方に潰走せしめた、匪の損害は遺棄死體五に上り、小銃二挺、同彈藥三一五發、拳銃一挺、同彈藥七發、牛二頭其他糧秣被服等多數を鹵獲の上、山寨十を燒却した、又敦化南方約六十キロの銃溝附近掃蕩中の川口部隊(〇〇名は去る廿二日午前七時牛皮溝嶺南方二キロの九四二高地附近において吳義成匪約二百名の露營地を發見、これに猛擊を加へ、交戰約一時間半の後これを四散せしめたが匪は死體十七を遺棄逃走した匪の損害は右の外捕虜一、チェック式輕機關銃一挺、同彈藥六十三發、小銃五、同彈藥四八九發、拳銃三挺、同彈藥百廿四發、馬二頭を鹵獲したがわが方面に損害なし

商況欄 (五月二十九日)後場

新京取引市況

現物(一石値段)	寄引	出來高
大豆	—	—
高粱	三、五〇	二車
米粱	—	—
吉豆	三、四〇	一車
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—
●大豆 六月限	六、四四 六、三八	六八車
七月限	—	—
●高粱 六月限	—	—
七月限	—	—

手形交換高(二十九日)

國幣 六六八、四七七、一〇七四八三

鮮魚小賣相場

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]
氷鯛	[illegible]	[illegible]
中鯛	[illegible]	[illegible]
小カスゴ	[illegible]	[illegible]
チコ鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
アマ鯛	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
エビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
マナ	[illegible]	[illegible]
マス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
アジ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
赤ムツ	[illegible]	[illegible]
アコウ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
鰯	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
紋甲イカ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
小イカ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
星カレイ	[illegible]	[illegible]
日高カレイ	[illegible]	[illegible]
連長	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
白魚	[illegible]	[illegible]
鮑	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
帆立貝身	[illegible]	[illegible]
赤貝	[illegible]	[illegible]
蜆貝	[illegible]	[illegible]
ムキミ貝	[illegible]	[illegible]
鮨	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
オバ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
(切り身相場) 掃木	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]

天氣と氣溫

けふの天氣 南西の風晴一時曇り
日の出 前五時 [illegible]
日の入 後八時一二分
月の出 後十二時四二分
月の入 前九時七分
きのふの氣溫 最高 二六度七 最低 一一度六

ハイキング案内（三）
爽涼の大屯へ！
青芝の絨氈に咲き亂れる草花
新京より往復六十錢

大滿洲國皇帝陛下臨閲國軍大演習記念碑

慶雲觀

范家屯

國道

新京→

大屯阜豐山ハイキングコース略圖

○大屯ハイキングコース
新京驛より十九粁八百米往復御六十錢

大屯阜豐山ハイキングコースは巾約四米の道路歩行容易で婦女子供に適し滿洲國皇帝陛下臨閲國軍大演習記念碑に至り先づ記念碑に參拜胄空を滿喫すれば涼風顏を撫で心身共に爽快なるを覺ゆ、山麓には巾十米の國道が一衣帶に横へ大屯市街は手中にあり更に眼を移せば遙か國都新京の遠望又絶佳にして果てしなき四圍を一目に恰も宇宙に浮き出た感あり畏くも皇帝陛下の嘗て大演習の御野立所となつたのも故あるかなと直に首肯せられる、附近一帶は廣莫たる稍々傾斜面に一面絨氈を敷いたやうな芝生へタンポポ、カキツバタ、スミレ、其他種々雜多な花が待つてゐたとばかり咲き亂れ中食するも心地好くポータブルに踊るも又一興である

小憩の後三角點に至れば范家屯市街は目下に日露戰役で名高い永沼挺身隊の爆破せし新開合河橋梁が遙か小さく偲ひは日露戰役當時に遡りつゝ降れば靑葉の森に來り歩を進むれば慶雲觀に着く香の薫りも高く古色愴然たるものあり、彼の賑盛を極める娘々祭の毎年の行事は余りにも有名である、此の古刹は今より三百五十年以前蒙古より遷座申上げ五百年來の古い歷史と信仰を集めた由緒ある神様にて治眼福壽、授兒の三神を祭祀し一度神殿に額けば其の靈驗著しく願れ願望叶はざるなきものと廣く一般に傳へられて居る慶雲觀を出て阜豐山腹から風を切つて走り出る石山經便線のトロツコも面白く國道へ出る、國道を東に沿へば航空燈ネオンがハイクを稱えてくれるかの感あり航空燈の一歩手前より大屯原種園内道路に這れば二百數十本の杏両側に植樹路上を覆ひ深緑の薫りも涼味滿點且つては春の滿開をも偲ぶに充分である、原種園にはダリヤ其の他數十種の花草を植てあり一日の行樂を惜しみ離屯するに最適地たる事を敢て推奬する

○陶家屯

新京より四十粁四百米、往復一圓三十錢、戰跡巡るコース

陶家屯驛―日添シマ子夫人記念碑―栗崎大尉以下五勇士記念碑（往復十粁）

陶家屯驛と愛護村長の斡旋で道路も修理される豫定でこれが完成の曉は婦人子供にも樂た道となる、春秋二期に記念祭典が催されその頃がハイクにも好適、附近に居る實戰參加の勇士に説明を請ひ當時を偲ぶのも亦意義深いことである、特に土産品とてはないが摘み草魚釣の好適地なれば手捕りの土産また一興であらう

反共勢力圈の强化で
命數盡きた共匪
藻掻く末路を歸順匪が告白

日滿軍警の嚴重なる、警戒彈壓に驅倒されて滿洲國内における共產匪の活動は微々として振はないことは國民周知の事實で、極めて少數の共產匪がソ領に接近した山岳、森林地帶に竄動してゐるにすぎない、彼等共產匪は紅軍と名乘つてゐるが軍と稱するほどの纏つた匪力を有して居らずまたソ聯から武器彈藥の補充をうけてゐるといふも元來舊式武器を携帶してゐた敗殘匪賊を掻き集め懷柔し紅軍の名を付したものに外ならないから優秀な武器を持つてゐる筈もなく、その戰鬪力も極めて微力劣勢で、精鋭を誇りとする日滿軍の前には全く問題でない、共產匪の宣傳工作も地本軍閥が苛斂誅求を擅にしてゐた舊軍閥時代には相當の效果を收めてゐたやうであるが、滿洲國建國の偉業が急速な勢で發展し、農民大衆が氣象觀測臺の設置、優良種子の無料配給その他農業開發に關する幾多の施設によつて治政の眞の有難味を知つた今日では彼等共產匪の宣傳は何等效を奏せぬばかりか、「共產匪の行動は地方の秩序を擾亂するのが目的で地方民を幸福に導く建設工作には些かも役立たないものである」との考へ方が一般的となり共產匪は至る處で指彈されてゐる、それがため今日では良民に對する共產匪の潛行工作は無慘な失敗に終つてゐる、最近三江省湯原縣北方、湯旺河溪谷地帶を彷徨する共產匪の大物夏雲楷匪の中から逃亡してきた一歸順匪の告白からもこの實情―共產匪がゆき詰りつゝある實情を明かに汲取ることが出來る、すなはち一共產匪の告白

一、夏雲楷の陣歿、共產匪首夏雲楷は自ら總司令と號しこの地方に散在する共產匪中にあり並ぶものなき羽振をきかせてゐたが、昨年末農家から掠奪してきた乘馬の良否について部下の小匪首長江なるものと激論した末、競馬によつて雌雄を決することゝなり不圖警戒線外に飛び出した處を折柄警戒中の滿洲國軍警備兵に狙撃されて重傷を負ひ治療中一月九日遂に死亡した

二、夏を喪つた共匪は統制を失ひ、しかも趙尙志、李德源、穀洪賓の三者の間に匪首爭ひを惹起し、爾來匪内の反目は尖鋭化し行動の一致をみることが出來なくなつた

三、共產匪は近來農民の自覺による反共自衞團が各地に簇生し、彼等共產匪の活動範圍がいよいよ狹まれつゝある現狀を打開しやうと躍擾いてゐる

四、その結果官民離間策に腐心し、地方政治に對する種々のデマを流布し、官民離間に躍起となつてゐるが村落民は從來の共產匪の工作に鑑み「共產匪は過激なる擾亂分子の集りで農民の眞の幸福な社會の何等の企圖を建設するものではなく、村落の平和を擾亂するものに外ならない」との體驗と印象をもつてゐるために共產匪が新たに念出したさまざまの官民離間策は孰れも失敗に終つてゐる、これがため共產匪の幹部中には「時勢の變化」を痛感してゐるものが少くない

五、從來共產匪が多少富裕なる農民に對し行つた暴虐極まる行動は今日では一般農民の反感を負ひ、共產匪が退散した地方における共產匪の惡感は物凄いものがあり、共產匪の宣傳工作は手も足も出ない有樣である、さらにまた

六、農民の自覺により著しい勢で擴大されつゝある本地方の反共勢力圈に對する共產匪の强行工作や嚴罰主義はいよいよ良民の嚮惡の的となり良民と共產匪の對立的距離は日一日と大きくなりつゝある、これに反しこの地方一帶には今や急速な勢ひで「反共自衞團」の結成を隨處にみつゝあり「共匪最後の日」の到來を早めつゝある

讀者の領分

協和會服

輕い春服に着替へる時こそ一番樂しいのである

服裝は人格を構成する、勤人、商人、學生と一見して判別出來、其の服裝により人格を伺ひ知る事が出來る初對面の感じによつて人生が左右される事さへある「服は人間の最も大切なる思想及靈魂を包む器なり」と云ふカーライルの言葉をまつ迄もない、然るに協和會の制服を着用した一員の變體行爲事件が報道されてあるを見甚だ寒心にたへない、制服は其の團體を代表するものである、協和會から大臣を出したと喜んで居る時かゝる變體男も出ようとは！倘度々街に於て色々の醜事を見る、協和會制服の統制が必要でないでせうか、大人連の御一考を願ふものである（渡邊秀夫）

學聯軍雪辱
對全滿軍柔道戰

【大連國通】滿洲柔道有段者會主催第九回東京學生柔道聯合會對全滿軍の對抗柔道戰は廿八日午後四時から大連忠靈塔市設土俵假道場で擧行されたが、定刻兩軍の入場式を行ひ前年の優勝者全滿洲軍より優勝旗、優勝杯の返還大村會長の挨拶後直ちに血戰の火蓋を切つた、三勝四敗にして前年の雪辱を遂げんとする學聯軍の意氣沖天、試合は最初より肉彈相搏壯烈なる場面を展開戰では一進一退を續けたが上位選手の戰に入つて遂に學聯軍の大將、副將を殘して雪辱なり、大村會長より優勝の學聯軍永光大將に優勝旗を、姿副將に優勝杯を授與、ついで大村會長挨拶を述べ午後八時十五分大會を終了した

日本から見た滿洲
滿洲から見た日本
（其の十二）　寒村生

甲に似た穴に蟄居して居りや世話はないのに、柄にも無く少々奥まつた新巢を構えやうと圖てた爲に當て事と何とやら、軟かな土だと思ひ込んで掘りかけたが、下素の淺智慧思はぬ岩が根にぶつつかつて十本の痩指、はや瓜が根はがして、四苦八苦、泡を吹いての悩みとでも落語にしてもおちにもならぬ笑ふに笑はれぬ苦笑もの、寒村家經濟工面工作の爲め、二三日が程東奔西走に疲れきり意氣地無くも紙面失禮申し上げた次第です。

□

何時まで經つても成る樣にしか成らず、半ば捨て鉢の靑面下げて、再び玉の黑汗ねぢ鉢卷に、暫き止めて、痩腕振ひ〳〵お見參申します。「其の第十次」で此に愈々本論に這入うと止めて置いたが調査に不徹底な點があり、賢明なる讀者諸賢の御批判を慮り、此處二三日が程はとつてもつかぬアブストラクションのおどけものでお許しを願ひたい。時節柄何も御座興と思召して

□

人間の價値は苦境に立つて現れると言ふが、得意の時にもお里が知れる、「七轉び八起き世界に何クヨクヨと踏れる草にも春が待つ」「昇れ奴凧天まで昇れ、絲の切れないほど〳〵に」「憂き事の尙此の上につもれかし限りある身の力試さん」色々の戒がある。不運も弛まずば再び起き上れやう春も待と、捨てる神ばかりではない助け神もある。絲と風に操られて有頂天に昇り過ぎると急轉直下、ひつく返る場合もある、人間萬事塞翁が馬、浮世はほんとにお先眞暗です。だが此の變化のあるところに面白味もあると言ふもの。

□

功成り名遂げた筈の宇垣大將氏身の程知らずにのさばり出たが、思はぬ横槍に一生一代の總理大臣の冠に手が屆かず瓜立ちそこねのばつたりは、あの際、お氣の毒、先生さぞかし末練の悲憤にくれたらうが、苔さへ生えてりや石地藏で務まる朝鮮の大將と異つて瘦せても枯れても生き者問屋の總理大臣は、世界情勢の黑潮の流れを解らぬ政綱では小雜魚は引つ掛らう男伊達、乘るか反るかの遠洋出漁の大業がうてやうもなし。

□

自惚と何とかの無いものは無いが一昔前の村田銃の金槌頭で化學萬能時代の世界外交戰に打ち合ひの出來る頭ではなかつたのが大將にとつては助け神、名譽ある東京市長候補者に擧げらる等人間何が仕合せになるか知れぬもの。

□

林總理大將氏、花も實もある天晴れ武夫の、五月蠅き政治等見向ふお人柄でも無いと思ふたに、眞崎だの荒木だの世が世であれば、日本の至寶と稱えらるゝ錚々たる大將連が非運に謹愼し呻吟してゐる等尻目にかけて持ち廻りの腐りかけたボタ餅を案外意氣地なくもかぶり付いたが今や中毒の消化不良に眼を白黑さしてゐる醜狀。助け船の小林中將博士等の鎭痛劑のモルヒネ注射が奏功して再び立てるや否や

□

佐藤外務鄕バタクサ君此奴がてんでお話にならぬ代物、長らく毛唐のバタばかり舐めてきたのが久し振り大和魂のすー米にありついて、フランス流の大よそ不似合のガマの油でもブツかけてしこたまかき込んだ中毒での氣狂ひ沙汰か、節角日本に慣づき穎らんとする伊太利や獨逸の親しみ。名譽ある孤立日本も再び春來たらんず微妙な外交進展に固唾を吞んでの國民の注視等思慮も考慮も憶面もなく「まづ外交は公明と同情」だのしやべらずもがなの宣傳に先づ手近かな支那からオツカナびつくりで手出して見たが

□

遠交近攻を外交の虎の卷と心得る狐と狸と貉をチヤンポンして豚油でデツチ上げた支那流の外交のせなはげの千變萬化の妖術に裏をかゝれ暇を誑かされ、底無しの田圃に放り込まれた形、溺れるものは藁でもつかむのたとへよくも選りに選つてカチカチ山の古狸より輪に輪をかけた惡智慧にかけては世界一の海賊の魔術とすがり付いて東洋盟主の誇りも譽も綺麗薩張りかなぐり捨て、言ふも言ふたり「東洋平和の爲め提携致しませう」は一體どこに根據があつての痴言か、御本人餘程楠木孔明の秘策のつもりが、やがて逆さに釣られてヘドを吐く位が關の山。

▲意氣込んで鏑矢の的が僞なり
▲張りきつて斬り込んだのが影であり
▲いつも小火ガソリンだけでかいなり
▲あばらやに納る月の靜けかり
▲無念無想つもりの奴が腹が減り
（つゞく）

兒童の愛護は榮養を基調に(B)

食物の主成分、榮養素　年齡で違ふ所要榮養量

食物の成分

食物の主成分が身體構成物質と同じであるといふことはその循理とはいへ誠に幸ひなことである。吾々は更に鹽類とヴイタミンとを加へて五榮養素と稱して居る。食物の榮養素の役目を總括すると次の如くなる。

蛋白質　主として身體の消耗物質を補ふと共に身體組織の組立をなし、一部は活力の供給源となる。

脂肪　身體の消耗組織を補充し且つ身體組織の構成を營むも、主たる役目は活力の發現にある。

含水炭素　主なる務めは活力の供給にあつて、剩餘のものは脂肪は變り體内の含水炭素成分を補塡する。

鹽類　體内鹽類の補充と、生活機能の整調に當る。

ヴイタミン　之は活力の源ともならず、又肉體の構成にも與らず、專ら生理的機能の調整に妙味ある作用を營んで居る。他の養素を蒸氣機關の燃料に譬へるならば、之は恰も機關の要所にさす機械油に相當するもので、身體諸器管の運轉を圓滑ならしめるに必要なものである。

食物の攝り方

榮養素の攝取には、安靜時の必要熱量、運動又は作業等による熱量の增加、發育成長の爲に要する熱量等を考へて各榮養素の配合分量に注意して獻立を作らねばならぬ。

第一表　年齡別に依る所要榮養量(國立榮養研究所)

	年齡	男子 成年男子を一〇として	男子 總溫量カロリー	男子 蛋白質量瓦	女子 成年女子を一〇として	女子 總溫量カロリー	女子 蛋白質量瓦
發育期	一—二	二	四八〇	二〇	二	四八〇	二〇
	三—四	四	九六〇	四〇	四	九六〇	四〇
	五—七	五	一二〇〇	五〇	五	一二〇〇	五〇
	八—一〇	七	一六八〇	七〇	六	一四四〇	六〇
	一一—一四	八	一九二〇	八〇	八	一九二〇	八〇
	一五—二〇	一〇	二四〇〇	一〇〇	九	二一六〇	九〇
盛年期	二一—五〇	一〇	二四〇〇	八〇	八	一九二〇	六〇
盛年後期	五一—六〇	一〇	二四〇〇	六〇	七	一六八〇	四〇
衰退期	六一以上	九	二一六〇	四五	六	一四四〇	三〇

第二表　各種勞作に伴ふ熱量の增加(一時間に就ての增加量)

行作狀態	增加量
讀書(頭腦使役)	七—八カロリー
寫字、書字	一〇—二〇　同
裁縫(家庭的)	二五—三〇　同
裁縫(職業的)	三一—八八　同
指物師	一三七—一六六　同
屋内作業	八七—一二四　同
洗濯	一二〇—二三〇　同
直立不動(氣を附け)姿勢	二〇—三〇　同
步行	一三〇—二〇〇　同
行軍(ランドセルを負ふ)	二〇〇—四〇〇　同
疾走	五〇〇—九〇〇　同
登山	四〇〇—九〇〇　同
角力	一八〇—三〇〇　同
水泳	二〇〇—七〇〇　同
ボート	二〇〇—九〇〇　同
スキー(平地滑走)	五〇〇—九五〇　同
スケート(スピード)	三〇〇—七〇〇　同
高吟(唱歌)	一一—三六　同

マニキュアの道具と磨き方の話

樂しみながら技巧の美を

(マ)ニキュアを施された爪には技巧的ではあるが新しい美があります。又少しの時間を見出して御自分のお爪をみがくことは御婦人にとつて樂しいことでもありますから、今迄全然マニキュアをしたことのない方も、新しくお始めになることをおすゝめします。

(先)づマニキュアの道具ですが、最初からあまり品數をたくさん備へることは億劫でもあり、それをつかひこなすことも出來ないものですから、最初は極く必要の物だけを整へます。これにはセットになつたものを求めるよりは、一つ〳〵の物を選んだ方がよろしいでせう。

(フ)アイル(ヤスリ)　これは是非必要です。全然マニキュアに興味を持たない方も、ハサミでパチン〳〵とおやりになるよりはヤスリで形をおつけになることがよろしいと思ひます。

(又)マニキュアをした爪の美しさは甘皮が切られてはつきりとキレイな形になつてゐるところにもあります。これにはナイフで甘皮の部分をおこして、オレンヂ・ステックでおします。最初はこれだけでも相當キレイになりますから少しおなれになつたら、ナイフでおこした甘皮をサミで切ります。

(甘)皮をおす時は、最初この部分を柔かくしておくことが大切で、ことに始めての方は石鹸水に相當長くつけておきます。とくに甘皮の固い場合はオリーブオイルをあたゝめて、其中に爪先をしばらくつけておくこともあります。

(さ)て甘皮を切つてしまいましたら、お好みのエナメルを塗るのですが、和服の方などでエナメルのきらいな方は、バッファーでみがいて艶を出しておきます。

・家庭常識・　銀紙の利用法

バケツの穴が塞げます

チョコレートや煙草を包んである錫箔は大抵の家庭ではどん〳〵捨ててゐますが、この利用法は、バケツや水杓子などの小孔を塞ぐ立派な鑄掛けをすることが出來ます。その仕方は孔の大きさに應じて、錫箔をかたくまるめて、孔の中に詰めこみ、上から燒火箸で一寸押へますと、錫はとけて孔はすつかりふさがります。又澤山貯つたときは、古鍋に入れて溶かし、それを貝殼でも盃でも、凹つた形のものの中へ流しこんで冷ましますと中々面白い文鎭や置物が出來ます。

おちいりやすい　一人子の危險

×××××この缺點に氣付いたら冷靜に矯正する事です×××××

子供を持ち、子供を教育する者の立場から云へば、或る子供全體を一團としての研究よりも、一人一人に當つて子供を考察する方が重大な意味があると思はれます。最近の米國の一人子に就ての統計的の研究は

一人子

を寄せ集めて一群としての研究ですから個々の子供の持つ特徵は現れて來ません。然し一人子の持つ危險性は決して閑却出來ない事は歐米各國の臨床家(敎育相談所又は小兒科醫專等の)が强調してゐる所です。オーストリーの相談所に訪れた子供の六割八分は一人子であり或る相談所へ見えた六三人の内一五人は一人子であるのを見ても他の同胞(きやうだい)のある子供に問題の多い事が明かです。一人子の厄介な性質の第一は落着きがなく神經質である事です。これは

周圍に

子供がなく大人ばかりの間で生活してゐるために、世話をやかれ過ぎたり、突つつかれたりして刺戟が多い事に依ります。第二は意思が弱く、依賴心が强くそして我儘である事です。此の特徵も子供が小さい時から周圍の者に總てをして貰つて子供自身の活躍する世界がないからです。子供同志と接觸する機會がなく、大人の間にばかり生活してゐるために早熟でもあります。第三は

社交性

の問題ですがこれは非常に極端な兩性質があります。勝氣で我儘で、他の子供達と折合つて行く事が出來ない者と極端に内氣で家庭外の子供の世界に順應して行く事が出來ない者とです兩者共に社交性に缺けてゐるわけです。以上の三つが一人子が問題の子である所以ですが、意思が弱く依賴心が强いために智能の割合に學業の成績が思はしくないのです。環境の影響が働くために、智能が全部出るわけに行かない。一人子は此の點好ましくない環境にゐるわけです。一人子には何よりも子供自身の世界を作らせる事が大切です。子供

同志の

社會に接觸させ、子供が自分で何でもやつて行くやうにすべきです。子供同志交はる事、及び子供自身の世界を持たせる事は、子供の精神の發達に著しい影響がある事は最近の研究でも非常に强調してゐる所で此の事は總ての子供に當嵌まることですが、特に一人子はさうした點で缺點を生ずることが著しいのですから、特別に注意しなければなりません。

忠靈塔春季恒例大祭　式典實況を放送

【前八・四〇】

國都北安路に黄色の巨體を中空高く聳へさす忠靈塔は滿洲國三千萬民草の崇敬の的であります。其奥深く靜かに永遠に眠る數千の護國の鬼となりたる英靈は大滿洲國建國の尊き犧牲者として毎春全滿を擧げての盛大嚴肅なる大祭典に依りその輝かしき勳功を讃へらるゝのであります。

本年は特に建國五周年に當るため滿洲國皇帝陛下には親しく御參拜の由仰せ出されました午前九時大忠靈塔前に御着、植田關東軍司令官と相前後して御親拜の趣に拜察致します。本年の祭典委員長は伊藤少將が當り關東軍の將星並に全國都の官民及滿洲國々務總理を始め各大官列席の下に極めて嚴肅、莊嚴裡に擧式されることになりました。

式次第は午前八時四十分各員着席、午前九時皇帝陛下並に植田軍司令官到着と同時に擧式の順序であります。參列者は在滿部隊の代表者及全國都の官民有志約六千名の豫定で、當日擧式後の參拜者は昨年同樣數萬を越へることと思ひます。

ラヂオ　けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局)　三十日(日曜日)

(朝)

六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)

八、〇〇　氣象通報(大連)　朝の音樂

八、四〇　忠靈塔春季恒例大祭式典實況(全日滿放送)　—忠靈塔境内より中繼—　アナウンサー　佐藤

九、三〇　子供の時間(東京)　歌繪卷　風かほる　吉原規編曲　JOAK唱歌隊　伴奏　アルメリヤ管絃樂團

一〇、〇〇　日曜勤行(東京)　—西新井大師より中繼—　一、法要　二、法話　弘法大師を讚仰す　導師　管主　濱野堅洲

一〇、四〇　講演(東京)　黑田鴻吾

一一、一〇　經濟市況(東京)

一一、二〇　講演(東京)　三笠艦上の東鄕大將　海軍中將　飯田久恒

一一、五九　時報(東京)

(晝)

〇、二〇　野球試合實況(東京)　—明治神宮外苑野球場より中繼—　東京大學野球聯盟リーグ戰(雨天順延)　慶應對立敎　早稻田對法政　六大學野球終了に引續き野球試合實況(新京西公園野球場より中繼)　新京野球聯盟春季リーグ戰(雨天順延)　備考　六大學野球なき場合は後二、一〇より放送　左の時刻には中斷す

〇、三〇　ニュース(東京・新京)

〇、五〇　新興演劇の午後(東京)　—野球ある場合は中止—

四、〇〇　ニュース(東京・新京)

(夜)

六、〇〇　子供の時間(東京)　近世日本の英傑　東鄕平八郎(二)　脚色並演出　東京放送童話研究會

六、三〇　遼陽の夕(奉天)　—遼陽座より中繼—　一、挨拶　遼陽電報電話局長　香取善四郎　二、講演　(イ)工業區市遼陽　遼陽滿鐵地方事務所長代理　岡健次　(ロ)遼陽忠靈塔に就いて　步兵少佐　松村千代喜　(ハ)遼陽縣事情　遼陽縣參事官　濱田義丸

七、〇〇　ニュース(東京)　ニュース・告知事項・番組豫告(新京)

七、三〇　日曜特輯ニュース演藝(東京)

八、〇〇　遼陽の夕(奉天)　—遼陽座より中繼—　一、小唄　戀の橋　二、長唄　君の庭　〆次　三、小唄　(イ)遼陽小唄　(ロ)花は咲き候　喜久勇　外　四、淸元　彌生の花淺草祭　茶良子　外　五、小唄　四季の遼陽　茶良子　外　六、閉會の辭

八、五〇　連續ラヂオ小說(東京)　冬のぬくもり　長塚節作、依田義賢脚色、乘松昭博作曲　谷田川新一郎　森赫子　大東鬼城　大矢市次郎　外

九、三〇　時報・ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(東京)(新京)

一〇、〇〇　滿鮮交換放送(哈爾濱)　唄　朱雲英　同　白靜華　同　陳鳳閣　指揮　葉桂芳　伴奏　哈爾濱新滿樂園　滿洲新歌曲　一、哈爾濱之夜　二、黑水白山　三、鳳求凰　四、空谷蘭　五、鳳陽花鼓　六、燕々歌　七、無伴之歌　八、特別快車　九、桃花江　十、搖籃曲

一〇、三〇　北滿の時間(哈爾濱)

角力を語る(上)

天龍三郎

我日本は、近年暑い時でも寒い折でも、非常にスポーツ熱が旺んになりまして、皆樣の若い血汐を大に湧き立たせる事で御座いました。スポーツといへば、野球とか、陸上競技とか、水泳、蹴球等殆ど外國から輸入されたものが多いのでありますが、我日本帝國と致しましては角力といふ立派な國技が、而も三千年の古い歷史をもつて嚴存して居るので御座います。

漸く立步きの出來るやうになつた幼少の頃から、誰に敎はるともなく自然に角力をとる事を知つてゐたでせう。五つ六つの子供時代から既に純眞な人間の赤裸々の姿で組合つて、力と技とを競はしてゐたではありませんか。

大和魂とはどんなものか?外國人には中々理解出來ないさうでありますが、この大和魂の持主たる我々日本人が持つて生れたスポーツの趣味が即ち角力でありまして、今日の時代は、「非常時日本」とか「建國精神」とか大變緊張した氣分が漲つて居りますがハイカラな近代競技が華やかに見えるに反し、角力は野蠻のやうに考へられる方もありませうが、競技の眞の生命、よく申されますスポーツマンシップ、即ち運動精神に於ては何の變りもないのでありましてむしろ角力の正義、氣魄緊張といつた氣分は外來スポーツに優るとも劣らないのであります。數年前の國家非常時來と共にこの角力道は猛然復活して參りましたのでありますが、何故一時角力が衰へたのであるか、一般から單なる興行物のやうに思はれて、兎角輕視されて來たのはどこに原因があるか、それを少しく說明致しませう。

角力は皆さんが敎はられたやうに、野見宿禰と當麻蹶速が朝廷で相撲つた故事がありますやうに、我國開闢以來ずつと傳はつて來たもので過去に於て幾度か畏れ多くも天皇陛下の御前で競技を天覽に供し奉つた程のものでありますが、中途で職業角力が生れ、これが一般の人氣をあふりまして、德川時代には大名が爭つて力士を召抱へる風習が生れ、自然東京即ち江戶に力士が集つて、ずつと現在の東京角力協會の根本をなして來たのであります。この時代以前から甲の角力團體と乙の角力團體とが對抗致しまして勸進角力といふのを行つて來たのでありますが、明治になりまして大阪、京都にもそれ〴〵團體が出來、明治三十年頃から後は東京に常陸山、梅ヶ谷、荒岩、太刀山等の大力士が雲の如く輩出し、同時に大阪には又若島、大木戶、琴の浦、八陣等といふ東京力士に一步も讓らぬ名力士が現はれ、京都には大碇を中心とする協會がありまして、これ等が合併して角力と稱して全國に活躍致しましたので、明治末期の角力全盛期は實に物凄いものがあつたので御座います。ところが、物には盛衰消長がありまして、さしもに隆盛を極めた角力道も、大正の後期から段々衰退して參りまして、昭和の初期には全く一般から見離されて終つて見る影もない衰微時代に陷つて終つたのであります。何故、そんなに盛んだつた角力が衰へたのか、それは前申しました大名の御抱へから禍根を發しまして、知らず識らずの間に力士に藝人根性が培はれ、人格の上で大衆から離れた別の世界を造つて終つたのと、長い間の因襲と、そこへ只今申しました大阪、京都の協會が滅びて東京に併合されたりした爲め、力士間の競爭的奮發心がなくなり、東京協會は又角力獨占といふ泰平の夢に馴れて角界全體が刺戟を失つて終つたので、永い間惰眠を貪つてゐたのですが、漸く氣がついた頃はもうどうにもならない深い谷底に衝き落されてゐたのでありました。

丁度この時代角力道の修行して居りました私達は、この儘ではこの由緒深い國技が滅びて終ふ、こりや一刻も早く改革を斷行せなければならぬから決心致しまして私達同志が東京協會から離脫致しまして革新運動を起したのは昭和七年で御座いました。私達のこの運動は先輩の意志に反する結果とはなりましたが、大義の上から、大きな角力道上から、正しい復興の決死的運動でありましたので、社會から非常に同情を得まして漸々理想が實現して參りまして昭和八年に關西角力協會を創立致しましてから四年間、誠に苦しい血と汗との荊の道を步んで來たのでありますが、私達の運動が意義深い正しいものである事が一般に理解されましたので丁度國家的に緊張してゐる時代に、精神的にも合致致しまして、再び今日の隆盛期を取戾す事が出來ましたので、我々の運動がその口火を切つたやうな譯で、やがては間接ながら恩師や先輩へ對する御恩報じも出來た次第で、私達の奮鬪甲斐のあつた事を大變喜んで居るので御座います。

さて、かうした經緯で今日迄進んで參りました私達は、どういふ考へで改革された角力界に盡さうとするのであるか、最後にそれをお話したいと存じます。

私達は國技奉公といふ事をモットーと致して居ります。さうして新時代にふさわしい角力に改善するためには、第一に大衆化といふ事でありまして、從來は限られた一部の人の專有物のやうな感のありました角力を、これからはあらゆる階級、大人も子供も、男子も女子も、學生も商人もすべての人々がこの道に精進し、この趣味に浸り得るやうにしたいので、スポーツの一種として他の競技と同じ途に進んで行きたいと思ふのであります。

角力といへばお角力さんの角力、即ち職業角力とのみ速斷される恨みがありますが、私の申すのは學生角力も、軍人も青年團も、工場員も月給取も、すべて日本人が角力をとり、角力を見て樂しむといつた風に進みたいのであります。最初に申しましたやうに日本人の氣分にガッチリと合つた日本獨得のこの角力に、すべての人が樂しみ、さうしてその眞精神を敎育上にも應用して行きたいのであります。

このやうな譯でありますから、私は各學校に柔道や劍道がありますやうに、角力も正科として採用して頂きたい。角力の正科運動といふ事を永らく提唱して參つたので御座います。一例を申しますと、今春、私達が朝鮮、滿洲巡業の際、木浦の公立商業學校で懇望されまして、私が一場のお話を致しました所、全校六百の生徒さん全部が一週二時間の角力の時間を樂しんで放課後の練習の外、毎日晝食前には裸體で角力體操を行ふ等といつて、早速正科に採用して下さつた同校の相撲部長の先生から禮狀を頂いて居ります。つい先日も當地へ參ります前、愛知縣津島町に行きました際、津島中學から招かれまして親しくお話とコーチを致しましたので御座います。

この學校の正科問題と共に一般化の爲には、この夏大阪の工場聯盟で何萬といふ若い各工場の人達のため、私達協會のものがそれ〴〵手別けしてコーチに參つたので御座いますが、かうした各方面共に益々盛んになつて參りますのは誠に喜ばしい事で、國家的にも祝福せねばならないと存じます。

一方私達職業角力の方から申しますならば、力士の人格の向上、現代に適した興行方法等、次々と改革を實現致して居りますが、こゝに最も重大な問題は、東京協會との對抗試合を是非共實現せねばならないので御座います。一時角力の衰へた原因がどこにあるかを考へますならば、直ちに判然致します通り、關東と關西が對抗して御互に激勵發奮してこそ大力士も現はれ角力も盛になるので御座いまして、各種の運動競技が對抗競技の刺戟によつて進步して參りますのを見ても明かな所で御座います。

私達は屢々これを東京方に申込んで居りますが、未だに快い返事に接しないのを非常に殘念に存じまするが、何れは實現の曉迄私達は倦まずたゆまず此の目的に向つて邁進して行く覺悟で御座います。かうしてこの日本固有の角力に生きた精神を吹き込んで、私達は皆さんと共に「國技奉公」の誠を盡したいので御座います。

土【後八・五〇】　連續ラヂオ小說　〝冬のぬくもり〟

やつと生活に餘裕の出來た勘次は、こんどは一錢の金でもとられるのが惜しかつた。そんな時に卯平がころがり込んで來たのであるから、勘次は一升の米でも減ることをけち〳〵云つた。卯平はからだが惡いので、腹がたつてもどうすることも出來ず、ぶつ〳〵云ひながら家にゐたが、遂にたえかねて、自分の金で勘次の家のそばに掘立小屋を建てて別居した。しかしリュウマチのひどくいたむ夜など、孤獨の淋しさに堪えかねて、卯平はすすり泣くのであつた。そんなときにいつもいたわつてくれるのはやさしいおつぎだつた。

◇

勘次は依然として卯平につらく當つた。ある時、勘次の姉が、無心を云ひに來たことから、氣を損ねてゐた勘次が、卯平が鷄に米を混ぜた餌をやつたと餘りにもけちなことで怒つたので、我慢をしてゐた卯平はたまらなくなつて勘次を火ばしで打つた。それが村の評判になつた。知り合ひが仲裁に入つて一應おさまつたやうに見えたがまた卯平をそそのかすものがあつて、いつ二人の爭ひが止むとも知れなかつた。そんな時に勘次の家から火が出たのである。働きに出てゐた勘次が、眞蒼になつてかけ戾つて來たときには家はすでに丸燒になつてゐた。勘次はぼう然とした。勘次は卯平が放火したものと思つた。

◇

事實はさうでなかつた。卯平のからだが不自由なことから起つた火事だつた。それに勘次が自分が放火したといふので卯平は、どこまでいぢめるのだと云つて泣いた。もう卯平は怒る氣力もなくなつてゐた。さうして卯平は自殺を計つた。何ものも失つてしまつた。勘次に同情するものは一人もなかつた。自殺をしようとした。卯平を見てはじめて我にかへつたやうに後悔した。さうして、勘次ははじめて、人間らしい氣持で卯平をなぐさめるのであつた。

學藝

侘びしい風景

北野甚明

廣津和郎が「文藝春秋」六月號に「社會時評」を書いてゐる。彼はその文章で「教育の國粹主義」といふことを取り上げ、或る高等の學校の入學試驗の時、受驗の學生達に「雜誌は何を讀むか」といふ問ひが出されたこと、それに對しては「キング」といふ答が一番多かつた。實際に「キング」を讀んでゐる者も多いのであるが、それとともにさう答へることが一番無難であるといふことを知つてゐてさう答へる連中も相當ゐるのだといふことを書いてゐる。

本當の事を云つてはいけない、相手の目の色を見て、その意志に迎合するやうに答へなければいけない、そんな氣風が若い學生の間に傳播されてゐるとすれば、これは由々しい問題でなければならぬ。

好い知識のある若い者が、口を揃へて「キングを讀みます」と答へてゐるといふ現代日本の光景に、餘りに侘びし過ぎると感じ、さう答へさせてそれで理想的と思つて安心してゐる教育家とその教育家の背後の何ものかのしたり顏に眼をそむけたい程のあさましさを感ずるのは、ひとり廣津のみではないであらう。

大正五、六年頃—そしてその前後十五、六年間が日本ではせめて自由な事が言へた時代であつた、その僅かな時代を黄金時代であつたかの如く追想しなければならないとは日本の民衆の何世紀に亘つての言葉を奪はれたみじめさはまざまざとしたものがある。

廣津の文章はそこで終つてゐるのであるが、實は、この狀態をいかにして變革するかがわれわれの問題でなければならぬのである。

何をなすべきか、ホワツト イズ、トウ、ビー、ダン？、この問題をいま新しい事情の中に立つてわれわれは切實に考へなければならぬ筈である難しい論法をひねくり廻すものはゐる。天降り的な觀念論を押しつけやうとするものもゐる。しかし自分から平明に自分たちの緊切な問題をわかり易く、說いて行かうとするものは仲々見當らぬ。侘びしい風景は、この滿洲でも擴がつてゐる。

滿洲國の娘々祭に就て（二）

協和會長春縣本部　道祖土剛

垣間見る娘々の神位はそも如何なる神でありませうか、それは三體の女神です。人世何時の世でも福即ち金が授かり病氣が癒り其の上良緣が結ばれ、丈夫な子供があつたら外に何の不足がありませう。

娘々廟の神位は中央に福壽の女神、左右に座するを治眼授兒の女神と稱されて、各々異つた技能を持つた女神が一堂に祀られて居ると云ふのもこれも如何にも大陸的であります。そうして娘々の神はかように人間の求める幸福の全部を司つて居ります。

この有難い神樣も、まだ神にならない前は滿たされない戀に泣き乍ら風の前の花の樣に果かなく散つて行つた趙公明の三妹で雲宵、碧宵、瓊宵と云ふ哀切極りない傳說が殘つて居ります。

娘々と云ふ言葉はもと皇后始め高貴の婦人の稱でありますが、今では一般に女神に對する言葉と看做されを居ります。娘々は地方民の必要から起つたので子孫の繁榮を願ふことを人の慾望の第一とし、且男子の有無が婦人の家庭生活に於て自分の地位を保つに最も必要な點から子孫娘々の必要が生じ、滿洲の黃麈萬丈の世界で百姓をする者には眼を病む者が多い爲に眼光娘々の慈悲を願ふ心が盛んに兆して來た事は當然でありませう觀音樣と娘々は兄弟の樣なもので、觀音樣が大慈大悲で何事も保佑の慈悲を垂れさせ給ふのと同樣に、娘々樣も何事もきいて下さる、それで先づ第一に子授けの願をかけ、可愛い娘の緣結びの神樣とも考へられます。娘々崇拜は古來世界に普遍して居る母性崇拜に根底を置いてることは見逃せない事實である、大概娘々廟の前には大香爐があり、祭の日は火事場の樣に線香が燃え盛ります。凡て滿人の供物即ち人形や眼鏡や、線香類は皆此の香爐に投げ込み焚かれます。日本の樣に神前に綺麗に飾るのではありません。此の大香爐で燃やせば煙りとなつて天に昇り神に届くと信じて居ります、だから日本の線香の樣に、二、三本が長い間燃えて居るのではなくて滿洲の線香は一把を一度に焚き一分間位で燃えつきて了ふ。

娘々祭は大體毎年舊暦四月十八日を中の日として、三日乃至五日間連續して行はれ、この參詣者は無慮二百七八十萬を下りません。中でも大石橋の迷鎭山の娘々祭は非常な賑ひを呈し、當日の參集者は少い年で約廿萬、多い年では卅萬以上に達します。其の他安奉線の鳳凰城、吉林の北山、王家、湯崗子、扶餘及び近い將來新京の郊外散策地と目指れて居る大屯等があるのであります。

殊に昨年から大屯の娘々祭は國都新京の日系滿系數萬の人々が押しかけますので、本年も來る廿六日から毎日臨時列車が二回も運轉され例年にない賑ひを呈します。此の外鐵道沿線を遠く離れて居る片田舍でも地方的に非常な盛觀を極めて居ます。見渡します と千里の途をいとはず、春にちなんだ、色とりどりの晴着を身に纏ひ、潮の樣に押寄せて參ります、あの麗しい善男善女の群は、丁度日本のお芝居に出て參ります昔乍らの巡禮者そのものの姿です。曠野の細道を村から村へ、カマボコ馬車に一家團欒、すし詰となつて千里の路を遠しとせず祈願をこめに來る情緒は、正に人の和の美しい民族信仰の神秘を如實に物語る繪系物であり、又同時に信仰の力が左右する集團的威容の莊嚴さでもあります。（未完）

滿洲の受胎（2）

工 清 定

（二本の大支柱を失つた古勒城には、陷落があるばかりだ！）

先年——蘇子河へ舟遊びに來た時、祖父たちが鄭重きはまる待遇をしたのにつけこんで自分の許婚宋香華に、こつそり崑崙土の耳節りを贈つた阿臺に對して、むしろ不快な追憶こそあれ、決して死を捧げねばならぬ理の恩誼を感じない努爾哈赤ではあつたが、同じ建州女眞衛でありながら尼堪外蘭が女々しくも詭計を用ひたと聞いては、とても、ぢつとしてゐられなくなつてしまつた。——努爾哈赤の血管の微細な尖端にまで、眞紅の血が、突撃ラッパを吹奏しながら、くるめき廻つた。

「出發だ！そして古勒城逆襲だ！」

簡單に、しかし力強くこうさけんで、颯爽とうち振つた寶鉞は、秋の陽を眞受けにして光つた。さうした凛然たる努爾哈赤の武者振を見て、また、おいおい聲をあげて泣いたのは、傳役の宋丕顯である宋香華の祖父宋丕顯である、

「宋！淚は不吉だ」

手兵七千五百。あだかも努爾哈赤の四股のやうに肅々と進撃をはじめた。

觀勝の酒宴に取りかゝらうとしてゐた尼。李聯合軍は、寒いた黄色い太陽を、早くも覆ひそめた霧の中に、青年に率ゐられた逆襲部隊を發見した。しかし、その意外な小勢に、農笑を浊して、はじめから、輕くあしらはうとした所に、つぐなひきれぬ不覺の敗因が藏されてゐた。

必死の逆襲！

整然たる行動！

農笑から緊張へ！

緊張から驚愕へと、急角度に襲變轉してもすべてがあまりに遲かつた。

防ぎきれないで、城外へ逃れた聯合軍は、執拗果敢に急追して來るこの部隊を、甲板の野に禦がうとしたが、それも無駄であつた。

月明の曠野を長驅して、鵝爾渾城に立籠つたが、神速なこの部隊の追及は崩れた陣形を整へる寸暇をも與へなかつたばかりか、却つて尼堪外蘭の生命にまで迫つてしまつれ——聯合軍の完全な敗亡であつた。

數刻前の敵が見せた亂軍ぶりを、今度は自分で味つた李成梁は、辛うじて鐵嶺にのがれた。

鵝爾渾城の黎明——

何事をも知らぬ氣に、さしのぼる洗はれた太陽を、アカシャ並木の向ふに見た努爾哈赤は、傍らの宋丕顯に、きまりの惡いほど、はしやぎきつてゐた。

美事に復讐成つた今ではあるが、そして祖父の死はあきらめうるとしても、（父を喪つたのが、つい、昨日だといふのに、あんまりな……。）と、宋が思つてゐはしまいかと、いくぶん自制してみてもあとからあとからと、たえずにみ上げて來る微笑を、どうこもかくしやうがないのである。

六年前、すでに母の棺側に侍した努爾哈赤は、いまや天涯孤獨の境遇におかれたわけである。しかし、世間で言はれ、いくぶんは自分でも時々豫想してみた淋しさとか、心細さとかは少しも感じないばかりか、あらゆる制肘を全く離れて、宋香華との新しい生活に待たれる樂しさ嬉しさがますます、力強くなみ打つて來るのである。

宋香華との新生活の日が、一時でも一分でも早く始められるやうに、努爾哈赤は煙髓山麓へ歸るのが急がれてならなかつた。

秋風、颯として渡る中を、白馬に誇る若い努爾哈赤。

この度の出陣に、大殿と殿を同時に喪つた赫圖阿拉の人々は、悲しみを秘して龍姿鳳目偉軀大耳にして、面は玉の潤ふが如き明朗凋達な若殿の凱旋を歡迎しないわけはなかつた。

けれども——努爾哈赤は意外な情景を部落の入口で見た、堵列した部落民が極度に狼狽してゐるのだ。或る者はしかめた顏を押さへるやうにして家へ駈け込み、或る者は團栗のやうにみはつた目を努爾哈赤からその直ぐ後に隨つてゐる宋丕顯に移して、あやふく何かを叫ばうとして堪へてゐるのだ。

宋香華が居ないのだ。行方を晦ましたのだ。

努爾哈赤は、突然、自分の立つてゐる足許に、暗く大きい奈落の口があいて、背後から強い力でその中へ眞逆樣に押しこまれてしまつた自分を感じた。

そしてその絶望は今度は五臟六腑を一時になまくら刀でたゝき切る樣な、おそらく祖父や父の死を聞いた先日にも增した噴懣に身を委ねざるを得なかつた。

阿臺だ！

亂軍のうちに忠死する祖父や父を無情にも見捨てゝ遁走したのだ！

しかもその途中この赫圖阿拉へ潛り込んで宋香華を說くに努爾哈赤投降を唯一の口實にして、うまうま世馴れと乙女を逆宣傳の輿に載せてしまつたのだ。

おゝ、そうしてうまうま宋香華の手を携へた阿臺は自ら進んで李成梁の軍に投降したといふではないか。

何のための自分の出陣だつたのだ—

宋香華を阿臺に奪はれ、祖父と父を尼堪外蘭に殺させたほかに、何ものが酬いられたか。

何のために祖父と父は死んだのか。

當の主人が、おめおめ敵に降つてしまつたではないか……。

努爾哈赤は、晩秋の長夜を床に反轉して、夜もすがら、まんじりともしなかつた。

おそらく、翌朝、一死もつて孫娘の罪を謝した宋丕顯の死體が、蘇子河に發見されなかつたならば努爾哈赤はその光榮ある清朝の創業に着手することはおろか、今日の東洋史に眇たる小活字を拾はせるに過ぎない小部落の長として老いてしまつたに違ひない。

「遼東に若き飛將幅起す。」——飛報は、鐵嶺總兵李成梁の敗報と同時に、北京にもたらされた。

多年、遼東の抑壓に因憊しきつてゐた朝廷は、愕然と色をなして若い努爾哈赤に龍虎將軍の榮名を與へて、その歡心を購ふ策に出た。

龍虎將軍

努爾哈赤が、紅色の綬をつけた大袈裟なその印を、うつろな映笑のうちに勅使の面前で、凍りついた大地に投げ出したことは言ふまでもない。

努爾哈赤の笑ひ顏に、あながち、傲慢な表情ばかりでなく、到底、覆ひつくせない一抹のさびしさが漂つてゐたことを、讀みとる餘裕まですつかり吸ひとられてしまつた勅使は、匆々と引きあげてしまつた。

內容の問題

——木田修「樹木」——

木田修「樹木」（滿洲公論五月號）——さりげなく書き棄てたやうなこの一篇、仲々達意の文章ではある。

それにしては、書かれてゐる內容の貧弱さが眼について仕方がない。形式よりも內容といふことを考へざるを得ぬ。

六年間とかを對談以上の交渉をせずつきあつて來た鑿者と、もう一人の女が現はれそれが動機となつて、より以上の接近に進む。そのキッカケの所だけを描いた小品。「樹木」といふシャレた題だが、それが生きて來ず、滿洲文學の足踏みを示して、パッとしない情景。（PSM）

學藝消息

△三好今朝吉氏　東新京局宅九二に移轉した

赤ペン放送室

城君奮闘

大連にこの詩人ありと知られてゐる城小雛君近頃はG氏文學賞委員會から出す「滿洲文藝年鑑」編輯に當り大童べの奮闘である

▼獨特の字體を連ねた手紙を塵紙色した便箋に書き綴つて離れ彼れに送つては怠け者の多いらしい文人どもを鞭撻してゐる

▼この手紙を貰つて誰れもが何とか城君の努力に協力したくなるところ、これは城君の持つて生れた人德の致すところであるらしい

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△防空（五月號）防護團は何をする、市民用防毒面の取締に就て、蘇支の航空工業に就て等の記事を掲載してゐる（新京興安通二八、滿洲防空協會、一錢）

△榮養學上より見たる國民の保健問題（鈴木梅太郎博士述）種々の圖解を附し榮養保健について平易に解說したものである（東京市麴町區丸ノ內一丁目六、啓明會二十五錢）

△碧雲（四月號）河東碧梧桐先生追悼號として門下、交友諸氏からの句追悼文が集められてゐる、在新京の木下笑風氏の句に「雪のだらだら坂を急ぎ無言で戶をあけた僕」その他がある、碧梧桐氏によつて始められた新傾向の一群は此の雜誌によつて制作を續けてゆくと見られる（三重縣四日市下新町、碧雲社、二十錢）

病める眼 疲れた瞳を
生活線上から一掃せよ！
健全なる視力の確保こそ
頭腦明澄化の前提だ！

明快なる眼科治療劑
スマイル

(定價) 二十五錢・四十五錢
全國藥店・百貨店藥品部にあり

正しい眼藥の選びかた

眼は解剖學上、腦の一部と見做される人體最高の器官で、眼の故障は直に腦に影響し、吾人の活動能力を低下させます。實に『眼は人生を支配する』と申すも過言ではありません。

現代人は、然しながら、強烈な光線の刺戟、塵埃、煤煙、交通煩瑣な街頭の歩行、空氣の汚染せる場所に於ける長時間の勞働、執務、讀書勉強等により日常絶ず、眼病菌感染、視力衰耗の危機に曝されてゐるのです故に——

優秀なる眼科藥の選出、常用によつて、不快な眼病を豫防、治療し、視力の強化を圖ることは、衛生思想に目覺めたる現代人相互の重要な責務でなくてはなりません。

スマイルは斯樣な現代生活の要求に應じて創製された、最も正しく最も合理的な眼科藥で、處方極めて適確、製劑行程飽く迄嚴格なるため、藥液中にアルカリ成分の遊離を見る等のこと些もなく、絶對至純の澄明度を保持し、常に強力、迅速なる藥効を發揮する事實は夙に**中村・仁藤兩博士の御推奬**を勝ち得て居る處です。即ち

本劑はその適確なる殺菌・消炎・收斂作用により下記の如き各種眼疾の際一日數回の點眼にて克く卓効を奏すると共に日常連用すれば眼に榮養を與へて、視力を強め、充血溷濁を除いて明澄な瞳を調へ、然も副作用、習慣性等を來す處の絶無な現代人向きな高級眼科藥です。

容器に對する科學的な用意

スマイルの容器は特殊の褐色硬質硝子と、不溶性で隙間の出來ぬグツタペルカ口栓を用ひて作られてゐますから、保存換氣等により藥液が變質し、アルカリの游離を起して濁澱したり、夾雜物の混入する樣な虞は絶對にありません。
御使用の際銀色の蓋を外し、容器の尖端を目の近くに持ち來し、直接眼に觸れぬ樣注意して、食指で壜底を軽く打てば、獨特の自然點眼式裝置により一滴宛快く衛生的に點眼されます。

結膜炎 (はやり目) 目の中がゴロゴロし眼瞼が腫れ眼脂や涙が溢れる時—スマイルを一日數回の點眼で快く恢復します。

トラホーム この執拗な傳染性眼病も眼の清潔とスマイルの常用で豫防され、罹患の際も此方法で著しく治癒を早めます

角膜炎 (ほし目、かすみ目) 黒眼にホシが出來、眼が霞み眩しくてならぬ時——スマイルを點せば速に輕快します

眼精疲勞 (つかれ目) 仕事の際眼が疲れ易く視力が鈍り頭の働が衰へる時——スマイルを點せば眼も頭もハツキリします。

眼瞼炎 (ただれ目) 眼瞼や眼尻が爛れ痛んで癢く不愉快な時——スマイル點眼を繼續すれば快く美しく恢復します。

充血 はれ目・ち目等一切の眼の充血溷濁にスマイルを點せば直ちに明澄な瞳と強い視力を回復し氣分も爽快となります

總代理店 株式會社 玉置商店 東京・大阪

S-A-10

韋駄天、接戰の連續 外山君、第一着へ

所要時間四二分、二着は金君 代表は近く詮衡決定

京吉マラソン豫選終る

來る六月二十日盛大に擧行される第三回京吉大マラソンに新京を代表して出場すべき駿足を決定する新京豫選會は廿九日午後二時半より西公園前に於て行はれた、西公園前に選手一同集合審判の順路その他についての注意あつてのち鮮やかに引かれたスタートライン上に自信に溢れた選手四十五名整列、三時五分審判員の號砲一發山なす應援團、觀衆の歡呼に送られてスタートがきられた、大經路目ざしてまつしぐらに走り出した一團抜きつ抜かれつかたまつてゐたが交叉點頃から除々に順番がつき西順街警察署前では方君を先頭に周、李、白、金君これに續きやゝおくれて花、外山君あり先頭と最後のへだたり約四百米、吉林大街交叉點にかゝる頃から周君をトップにぐん／＼抜いて出た伊藤君方金、白君等一團となつて續き約五十米おくれて嚴、鵬、趙何君等の一團が走る、出場選手中一番の小兵普通學校の林君この頃からよく大兵を後にどん／＼追ひ越し中位に入る觀象台、南嶺、バス停留場と進むにつれいよ／＼前後の隔り大きく先頭と最後約千五六百米以上離れる方君外山君周君金君依然として先頭を走り南嶺兵舍頃から外山君駿足を發揮トップとなり方君金君これに續く大同大街に出る處外山君一人斷然トップに立ち少しおくれて金君方君續き伊藤君趙君金（仁）君白君と各々二、三十米づゝ離れて續く愈よコースも終りに近づき大同廣場に到る頃各選手そろ／＼ラストヘビーをかけ初め外山君をトップに約五十米遲れて金君約百米離れて伊藤君約五十米うしろに方君、金（仁）君、白君、趙君、馬君が續き大勢やゝ決したかに見えた、かくて應援、觀衆のやんやと云ふ嵐の中に（電々の外山君全走程一萬二千米を走破して第一着に都合に依つて變更された）大興ビル前ゴールに昂奮に紅潮した顏で元氣に飛び込んだ、時に三時四十七分、續いて五十五秒おくれて金壽玉君二着以下伊藤君、白君、金（仁）君と次々にゴールインして無事豫選會を終了した、十五着迄左の如し

一、外山平（電々）—四十二分—二、金壽玉（大同報）—四十二分五十五秒—三、伊藤寮雄（市公署）—四十三分三十五秒—四、白昌祥（市民）五、金仁煥（工業學校）六、馬長青（交通部）七、白利洽（店員）八、周雲橋（市民）九、方景河（新京軍需所）十、金允成（總務廳）十一、李孝根（工業學校）十二、胡宏策（需品處）十三、成澤武夫（需品處）十四、林泰燮（普通學校）十五、嚴彬（工業學校）

なほ本日の成績を參考に委員に於て銓衡の上正式に選手を決定近日中に發表、愈よ本格的な練習に入ることになつた

【寫眞は號砲一發脫兎の如きスタートと、圓內は一着の外山君】

全滿防空演習に備へ 防護實物教育

來月五日、新京防護團で實施

近く施行される全滿防空演習に備へ新京防護團は左の通り防護實物教育を實施する

一、目的＝本教育は家庭に於ける燈火管制（警戒管制）の實行方法及警戒管制下に於ける移動燈火及非常管制下に於ける標識燈等の隱蔽又は遮光方法を實物に就き教育し併而家庭に於ける燒夷彈に依る防火方法を研究す

二、實施要領＝1、家庭に於ける燒夷彈に對する防火、家屋內に著發火せる燒夷彈に對し家人が水其他有り合せの物料を以て消火する方法を實行す2、燈火管制（警戒管制）の實行方法、家庭に於て電燈「カバー」、窓覆其他適宜の材料を使用して管制の目的を達成する方法を實行す、移動燈火は自動車、自動自轉車、自轉車、馬車、人力車等の遮光裝置を實物に就て實行す、非常管制中と雖尙殘置さるべき標識燈類の遮光方法を實施

三、實施場所及時刻

一般的說明及燒夷彈の消火法（日滿軍人會館）自六月五日午後三時、至同午後五時

家庭に於ける警戒管制實行方法及移動燈火の處置、非常管制時に於ける標識燈の處置（西公園正門前）自同午後八時、至同午後九時

同右（大經路警察署附近）自同午後九時三十分、至同

指導、連絡委員 第一會合

午後十時三十分

昭和十二年度全滿防空演習新京市演習計畫指導委員並に連絡委員第一回會合は二十九日午前十時から日滿軍人會館に全委員集合、小松原新京統監臨席の下に午後三時まで種々協議した

小畑日本ペイント取締役來京

滿洲產業視察のため二十七日のあじあで來京した大阪商工會議所顧問、關西產業團體聯合會常務委員長、日滿實業協會理事、日本ペイント取締役社長小畑源之助氏は關東軍、總務廳、實業部、財政部その他關係箇所を訪問し、二十九日午後六時三十分發あじあで日本ペイント奉天支社販賣課長西村喜藏氏を同伴、ハルビンへ向つたが驛頭で語る

滿洲には五年振りに來た、日滿兩國は一德一心であるから我々內地の實業家も滿洲に渡つて實情を詳しく視ておく必要があると思つて來た譯だ滯京二日間で關東軍、韓財政部大臣、星野總務廳長、田邊參議その他實業部、滿鐵新京事務局の方々とも充分お會いして色々新智識を得て新滿洲國をよく認識することを得た、二十八日は商工會議所事務局、實業部その他關係者と三時間に亘つて懇談を遂げたが非常によかつた、日本ペイントは既に奉天に工場は持つてゐるし、新京は工業都市でもないから滿洲では現物推將だらう

なほ同氏はハルビンに一泊の上三十日午後引返し來京の豫定である

步四會懇親會

步四會では三十日午後一時から寬城子記念碑前で大島少將を中心に懇親會を開催する

豫防に萬全期し 猩紅熱のテスト

卅日より四日間施行

滿鐵敷島遼に大量猩紅熱發生し市民に大恐慌を與へてゐるが、新京署衛生係ではこれが豫防に萬餘を期すため三十日より四日間に亘り左記の場所に於て猩紅熱のテストを施行することとなつた

▽三十日、敷島寮、驛、保安區

▽三十一日、驛、檢車區、檢診

▽一日　檢車區、事務局、組合、學校、滿鐵、檢診

▽二日　檢診

衛生關係機關 防疫に全力

二十七、八兩日で新京滿鐵獨身寮敷島寮から二十九名の猩紅熱患者が發生し、市內側でも數名の患者が發生し滿鐵衛生隊では新京署衛生係その他關係箇所と協力密接な連絡の上、看護婦二名日本人五名滿洲人四名の臨時防疫吏を募集し全機能を發揮してこれが防疫に晝夜兼行全力を注いでゐるが二十八日は既報二名の新患者の外に午後八時ごろ古野小兒科醫院に診察をうけた常盤町二丁目新京驛長稻川利一氏五男利昭君（五ツ）が更に猩紅熱と確診し直ちに共立醫院に收容されたなほ一家から二名の患者を出した稻川驛長は語る

驛員中からは十數名の患者を出し、更に家族から二名の患者まで出して世間の皆に御迷惑をかけて誠に相濟みません、驛の方は既に大消毒の上善後處置をとつて頂き家族の方も外部との連絡を斷つて防疫に努めてゐます、當分の間は自分も勤務は遠慮いたします

なほ二十九日正午までには新患者の發生は一人もない

白菊小學校にも 一名發病

二十七日まで元氣で通學してゐた特別市建和街二百六號電業公司機械科森田代治氏長女白菊小學校一年一組森田恭子さんは二十八日に發病し滿鐵醫院で診察をうけた結果二十八日午後これ亦猩紅熱と確診直ちに共立醫院に隔離し二十九日朝白菊小學校は滿鐵衛生隊で大消毒を行つた

湯原縣七勇士 遺骨けふ故郷へ

湯原縣殉職者故宮地參事官以下七氏の遺骨は、夫々遺族に護られて卅日午前八時發ひかりで離京、朝鮮經由原籍地へ歸ることになつたが、民政部では古谷事務官外六名が一柱に一人宛從つて郷里に見送る事となつた

西本願寺行事

西本願寺三十日の行事▲日曜講話午後二時演題『醒命の宗教』講師藤野哲行演題『まことの宗教』講師光岡慈昭

"店子が居直つても 工事は續行せよ"

危險家屋紛擾に當局態度表明

立退け、立退かんで問題を起した梅ケ枝町四丁目十四番地附近の危險家屋の改築に關しては三十一日更に店子全部と家主を集めて協議することとなつてゐ、問題はこれのみに止らず改築命令を受けた他の危險家屋と店子との間にも同樣なトラブルの起る危險性があるので成行は各方面から注目されてゐたが、此れに對する當局の態度を永田保安主任は次の如く述べてゐる

警察が危險家屋と認めて改築を命ずるのに店子が立退かぬからと云ふ理由で工事を中止する譯には行かない立退料を欲しがつてぐず／＼してゐても家が片端からこはされて行つたら出て行くより他に方法がないではないか

鐵道北の小火

二十九日午後二時三十分頃鐵道北軍用路西側九十三番地滿洲國人劉海全より發火、一棟（木造）六戸を全燒して同三時十五分鎭火した、原因は小供に火遊びからとみられてゐる

大昌洋行ボヤ

二十九日午後三時三十分頃城內西二道街滿商大昌洋行の煙突より發火あわや大事に至らんとしたがかけつけた滿洲國消防隊の敏速なる活動に依りボヤの程度で鎭火

紅い爭議流行り

今度はモンテカルロの女給連 違約を楯に籠城騷ぎ

先日新京會館に於てダンサー連中が御馳走のおねだりをやつて駄々をこね漸くそれが解決したと思つたら又もや今度は東京からやつて來たばかりの新進モンテカルロの女給軍が最初の約束よりも月給が少ないと勇ましくもストライキを敢行旅館にたてこもり開戰準備をとゝのへたが新京署高等の調定で圓滿解決した、事の起りは本月七日東京より直輸入されたモンテカルロ女給軍十名が來滿の時の條件と大分收入が違ふとモンテカルロ經營主春日俊文氏に對し二十九日午前十一時頃

（一）收入に關する件

イ、五月分の月給は本月廿日より日割にて支給の事

ロ、步合を廢止し各自の日給を三十圓づつ昇給する事

（二）營業及勤務

イ、店主としての營業方針を一般に明示する

ロ、從業員に忠告する場合は寄宿に歸りて後に注意し營業時間中は絕對にせぬこと

ハ、從業員を解雇する場合は其の理由を一同に明言の事

ニ、從業時間は早出四時遲出六時とし月二回の公休制とする

ホ、病氣で一週間以內休業する場合は減俸せぬこと

等の要求條項を提出し直ちに中央通富士屋旅館にとぢこもりストライキを起したが結局新京署高等が中に入り調定に努めた結果收入に關する件の內五月分の月給は十四日から日割で支給の上月給は十圓昇給し營業及勤務に關する件は他のカフエ並とすることに兩方妥協し九時半から就業した

淨月潭の火事

二十九日午後八時廿五分頃淨月潭水源地にある建設局バラツク建て苦力假宿舍より發火木造家屋のこととて火の廻り早く應援にかけつけた滿洲國消防署等の活躍により三十軒を燃して同九時半鎭火した、原因は漏電と言はれるが損害その他調査中

關西相撲一行

雨で五日來京に延期

天龍來の報に全新京を沸きたゝせ鶴首して待たれてゐる關西相撲一行八十余名は目下鞍山に於て巡業中のところ本日の雨で一日延期となり奉天、撫順と順ぐりに一日宛遲れ新京では五、六、七日三日間西公園前空地で興行することに變更された、同協會では先發準備員山本氏が本日初旬より來京各方面と折衝準備を進めてゐるが各官廳、會社をはじめ團體申込み多數あり盛況が豫想されて居る、故國を離れて見る國技の妙味また一入と隨所で人氣を集めてゐる

高橋投手の好調に 新京倶樂部快勝

新京リーグ、對電々戰

6A—2

新京リーグ電々對新京クラブ第一回戰は二十九日午後五時十分から西公園球場にて球審孫、壘審岩瀨、片岡、鎌田四氏審判電々先攻のもとに開始されたが、新京クラブ電々鈴木投手の不調に乘じ打棒よく奪ひかつ高橋投手攻守とも好調を示し三回裏には左越塀越ホームランをとばすなど殊勳を立て結局六A對二にて快勝した、但し此の日折柄俄雨に遭遇雨中の亂戰にてコンデイションは不良であつた

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
電（先）	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
新	0	2	2	1	0	0	1	0	A	6A

試合經過

▲一回（電）稻田四球、鈴木三振、宇多村中飛、迫畑打者の時稻田二盜、迫畑四球村上左越安打に稻田生還、小林左邪飛（新）川田遊擊強襲安打に出で、水島打者の時捕手ハンブルに川田二進、水島のバントに三進、釘貫投飢、榮永三振に止む（電—1新—0）

▲二回（電）鈴木三匍失に生き、櫻井三振、近藤遊越安打稻田三匍に走者前進、鈴木遊匍（新）高橋三遊間安打鈴木三振、大澤左直飛、石田、小出ともに四球、川田の遊匍、遊擊手一壘低投に高橋、石田生還、水島遊匍（電—0新—2）

▲三回（電）宇多村、迫畑ともに中飛、村上遊匍（新）釘貫遊越安打、榮永右飛、高橋左翼塀越大ホームランに二者生還、鈴木中飛、大澤左飛（電—0新—2）

▲四回（電）小林三壘線寄り安打、鈴木二飛、櫻井一飛近藤右飛（新）石田四球、小出三振、川田左越安打に石田生還、水島右飛、釘貫三匍（電—0新—1）

▲五回（電）稻田遊匍、鈴木左飛、宇多村左中間二壘打に出しも、迫畑三匍（新）榮永遊匍、高橋四球、鈴木の二匍に高橋封殺、大澤二飛（兩軍—0）

▲六回（電）村上遊匍、小林右飛、鈴木三匍失に生きしも仁二飛（新）石田二飛、小出三振、川田二飛（兩軍—0）

▲七回（電）近藤三振、稻田三匍、鈴木二遊間安打、宇多村左飛、新水島二遊間安打、釘貫三振、榮永遊飛、高橋右中間二壘打に水島生還鈴木右飛（電—0新—1）

▲八回（電）迫畑遊直飛、村上四球、小林の遊匍に村上と重殺（新）大澤遊匍、石田投匍、小出二匍（兩軍—0）

▲九回（電）鈴木三匍、P・H永野二遊間安打、近藤打者の時二盜成功、近藤、稻田ともに四球、鈴木三匍に近藤封殺、永野生還、宇多村三匍に萬事休す、閉戰六時五十七分

▲メンバー

（新）4川田 7水島 6釘貫 8榮永 1高橋 5鈴木 9大澤 2石田 3小出

（電）8稻田 5鈴木（建）3宇多村 2迫畑 7村上 4小林 1鈴木（勝）9櫻井 PH仁 PH永野 6近藤

▲バツテリー（電）鈴木—迫畑 新高橋—石田

▲トータル

	打	得	安	犠	振	球	失	盜
新	31	6	7	1	5	4	2	0
電	35	2	6	0	3	5	2	3

▲本壘打（高橋）二壘打（高橋、宇多村）

▲試合時間一時間四十七分

新綠に映えて 賑ふお目出度風景

新綠の春、新京神社には見るからに華かな裾模樣に角かくしの花嫁御寮のオンパレード二十九日午後も星野總務廳長夫妻の媒酌で婚約整つた新郎義和路二百五十四號池田和夫氏（三三）と直木倫太郎博士次女素枝孃（二六）との華燭の典を始め△興亞街四百九號阿部宗明氏（二八）と岩手縣盛岡市東中野、平野園子孃（二〇）△千葉縣安房郡太海村土岐治三郎氏（三〇）と朝日通り六十一番地關本玉子孃（二三）△花園町三丁目三十八番地白水孝一氏（三〇）と同町熊本朝子（二二）△延吉縣朝陽川茹子原淺治郎氏（三三）と大經路四十八號野見山政子孃（二五）△義和胡同六百一號田中俊男氏（二六）と東京市大森區吉岡愛さん（二八）この六組の華燭の典が擧げられた

文教部家族會

文教部では本三十日の日曜午前十時から大同公園で大家族會を開催、おでん、すし、しること等の模擬店の外餘興、運動會、芝居等盛澤山の催物に一日の淸遊を樂しむことになつてゐる

プレーンソーダ

新京署保安は今の永田主任が來てから俄然空氣が一變したと云ふ話だ▼非常に腕の冴えた人でどんな難問題でも快刀亂麻をたつ勢で片端から解決して行く▼そして曰く「俺は此頃フアッショになつてね」、とところが藝者や女給に對しては非常に優しうおじやる▼フアッショは女に優しい相な

戀悲 髑髏組

（百六）

（挿繪 上 讀化 晴）　林 杢兵衛 / 金子 士郎 畫

運命（一）

（――その良心の苛責に堪へ兼ねて、勘太と小六を釣つた囮りの釣船だが、意外の椿事を卷き起して此の有樣。要するに、底知れぬ泥田に過つて片足を踏み外し、それを拔かんと、身を藻掻いたばつかりに、今では全身が次第に埋れて行きつゝあるやうなものだ。考へて見れば意のまゝにならぬ浮世ではある――あーあ、自身の運命もこれで終りか。運命の終りは決して惜しいとは思はぬが、何んとかして汚れた惡衣だけは、綺麗薩ッ張りと脱ぎ捨てゝ、そうして此世の未練を斷ち切りたい。だがしかし、歳代に別れて九ケ月あまり、彼女は一體何處にどうして居ることやら――考へて見れば味氣ない――と云ふより冷酷無情の世の中である）

刑部は、茂十郎と共に夜の日本橋を歩きながら、過去の追懐に耽つてゐる。

流石大江戸の目拔き、日本橋の大通りも、子の刻近くになつては寂然として人の子一人も通らない。兩側の家因は軒並に大戸を下して、深い眠りに陷ちてゐる。道は固く氷りついて、星一つ見へない夜の寒さが身に沁みる。まるで凍つた海の底を行くやうだ。

やがて來かゝる横町の街角。と――信濃屋の用水桶の蔭から、スーツ、スーツと拔け出した黒い影が一つ。二つ。三つ。

その三つの人影は、暫くたたずんで四邊の氣配を窺つてゐるやうであつた。すると、見る間に一人を殘した二つの影が、信濃屋の高塀に近寄つて行つた。と思ふと、まるで蝙蝠のやうに、ヒラリ、ヒラリと、身輕くその高塀を乘り越へて同時に消えた。

外に殘つた影は、それを覗つと見すましてゐたが、やゝあつてまた以前の用水桶の蔭に身をひそました。

それからほんの僅かな時間だつた。向ふの街角から夜廻りの人數が、ヒョッコリ出て此方の方へやつて來る。用水桶にひそんだ影は狼狽したやうに、少しばかり動いたが縮ぢびたりと身を伏せて仕舞つた。

夜廻り巡視の人數は八九人。丁度信濃屋の前に立ち停つた。

「信濃の、今夜の持場は此邊だ。」

「髑髏組が果して出るか出ないか、考へて見れば茂十親分も隨分苦勞だよ」

「これだけ用心をしても、まだ彼奴等は隙を狙つて仕事をするんだから堪らねえや」

「まつたく恐ろしい奴等だ。若し此處へヒョックリ飛び出したら、皆んなはどうする？」

「知れた事だ、フン摑めえて手柄に……と云ひてえが、なかく〳〵こちとらが十人や二十人掛つて見たつて、手に負へたもんぢやねえから始末が惡いやな」

「それぢやア、これッぱかしの人數で固めて居たつて何んにもならねえぢやねえか？」

「だからよ、まゝ、威おどしの案山子みたいな役廻りさ、いくら奴等が大膽でも、まさかこうして居る前で、仕事も出來ねえだらうからなア」

「いや、何しろ相手は髑髏組だ、案外やりかねないぜ」

などと、話合つてゐる折柄

「おや？ 何んだ今の聲は……皆んな靜かにしろ」と、一人が急に聞耳を立てた。

「俺にや何かすねえ、何んにも聞えねえぢやねえか」

云ひながら、一同は、それでも神經鋭く四邊を見廻した。

「なんでもねえぢやねえか？」

「いや、今確かに聞えたんだ。見ねえ、ほら――なア？」

「あア、[illegible]」